

平成26・27年度 川崎市教育委員会 研究推進校 ― 外国語（英語）科

研究報告会 研究資料

〈研究主題〉

表現力を高める指導の工夫 ～第二言語習得理論とCLILで育てる～

〈目次〉

1. 平成27年度 川崎市立菅生中学校 Can-Doリスト
2. 資料集
 - 第1学年
 - ・ 普段の授業の積み重ねで培う発信力を高めるコミュニケーション活動（帯活動）について
 - ・ Total English 1 Chapter 1 Project 「自分のことを伝えよう」
 - 第2学年
 - ・ 自学への道
 - ・ One Minute Chat
 - ・ Total English 2 Lesson 1 「Japanese Sports」
 - ・ Total English 2 Lesson 3 「Flight to the UK」
 - 第3学年
 - ・ Total English 3 Chapter 2 Project 「インタビューをしよう」
 - ・ Total English 3 Chapter 4 Project 「自分の考えを言おう」
3. 研究推進通信

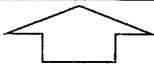
「他を尊重し自己を発信できる生徒」の育成

他を尊重し自己を発信できる				
外国語理解の能力			外国語表現の能力	
	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
第1学年	簡単な英文を読んで書かれた内容や考え方などをとらえることができる。	身近な話題についての疑問文を聞いて質問の内容を理解することができる。	与えられた表現を用いて自分のことについて書くことができる。	与えられた表現を用いて自分のことについて簡単な文で返答することができる。
第2学年	まとまりのある英文を読んで書かれた内容や考え方などをとらえることができる。	簡単なスピーチを聞いて理解することができる。	自己について簡単なつながりのある文を書くことができる。	自己についてまとまりのある英文で表現することができる。
第3学年	まとまりのある英文を読み書かれた内容や考え方への大筋をとらえることができる。	まとまりのある英語をきいて、概要や要点を聞き取ることができる。	与えられた課題について、つながりやまとまりを意識した英文を書くことができる。	与えられたテーマについて自分の意見や思いを含めた会話やスピーチをすることができる。

平成27年度版 川崎市立菅生中学校 英語科 学習到達目標

【卒業時の学習到達目標】

初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の意向を尊重しながら理解するとともに、初歩的な英語で話したり書いたりして自分の考えなどを発信することができる



「外国語表現の能力」

「外国語理解の能力」

【第3学年】

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを、表現方法を工夫して相手にわかりやすく伝えることができる。 ●スピーチの内容を考え抑揚をつけて発表することができる。 ●つなぎ言葉などを適切に用いながら、外国人の先生にインタビューをすることができる。 ●修学旅行・日本の伝統文化について写真やパンフレットを用いて発表することができる。 ●Taskに挙げられている質問を使って、質問することができる。 ●調査結果を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを今までに学習した表現方法を使い、相手にわかりやすくまとめることができる。 ●自分を取り上げた人物について、つなかりを考えながら文章を書くことができる。 ●外国人の先生にインタビューする質問文を書く。 ●インタビューの結果をグループで文章にまとめることができる。 ●修学旅行・日本の伝統文化について英語新聞にまとめることができる。 ●調査結果をレポートにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ライティングテスト ・卒業DVD 	<ul style="list-style-type: none"> ●優れたプレゼンテーションを自分の意見をままとめながら聞くことができる。 ●友達の将来の夢に関するスピーチを聞いて内容を理解することができる。 ●メモを取りながら外国人の先生の話を聞くことができる。 ●修学旅行・日本の伝統文化についての友人の発表を聞いて理解することができる。 ●友人の発表内容を正しく聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・リスニングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●友人のまとめた文章を読んで理解することができる。 ●将例文を参考にしながら、スピーチの出だし、本論、まとめの部分を書きだして、つなかりを考えながらまとめることができる。 ●インタビュー内容を簡潔にまとめることができる。 ●京都・奈良の地理・歴史や法隆寺の建築について読んで理解することができる。 ●調査結果をよみとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・音読テスト



【2学年の学習到達目標】

初歩的な英語を聞いたり読んだりして友人の発表や簡単な物語文を理解するとともに、初歩的な英語で話したり書いたりして自分に関することを紹介することができる。

【第2学年】

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ●話し始めや終わりの言葉などを加えて、聞き手に伝わるように口頭発表することができる。 ●将来の夢に関する5～7分程度の文章を聞き手に伝わるようにスピーチすることができる。 ●人名画の人物の心情を想像しながらスキットを演じることができる。 ●一日の流れを過去形を使って発表することができる。 ●春休みまたは最近の自分の体験を友人の前で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が大切にしているものを、その理由も含めて10文程度の文章にまとめることができる。 ●将来の夢や志望理由に具体的な体験を肉付けしながら、5～7文程度の文章にまとめることができる。 ●名画の人物が言いそうなことを想像して、せりふを英語で書くことができる。 ●一日の流れを過去形で表現することができる。 ●春休みまたは最近の自分の体験を3～4文程度の文章にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・ライティングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達の発表を聞いて友人の宝物を聞き取り、理解することができる。 ●友達将来の夢に関するスピーチを聞いて内容を理解することができる。 ●友達の発表を聞いて名画の人物の心情を想像することができる。 ●一日の出来事を聞いて理解することができる。 ●友人の発表を聞き春休みまたは最近の友人の体験を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・リスニングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●友人の書いた宝物についての文を読んで理解することができる。 ●春休みまたは最近の自分の体験をまとめた文章を読むことができる。 ●将来の夢に関する5～7分程度の文章を読み、理解することができる。 ●人名画の人物の言いそうなセリフを読んで、心情を想像することができる。 ●友人の書いた日記を読んで一日の流れを確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・音読テスト



【1学年の学習到達目標】

初歩的な英語を聞いたり読んだりして身の回りの英語や簡単な英文を理解するとともに、初歩的な英語で話したり書いたりしてあいさつや自己紹介をすることができる。

【第1学年】

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ●好きなものや大切なものについて書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。 ●When, Who, Where, What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまりのある英文をフォトニュース形式で発表することができる。 ●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。 ●人を紹介する5～6文程度の英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。 ●基本のあいさつや身近な英語表現を用いて話すことができる。 ●スピーチの始めと終わりの表現を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●好きなものや大切なものを紹介する6～8文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●外国人の先生に手紙を書くことができる。 ●When, Who, Where, What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまりのある英文を書くことができる。 ●自分の好きなものや所属する部活動などについて5文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●人を紹介する5～6文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●アルファベットや簡単な単語を筆記することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・ライティングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●友達の発表を聞いて友人の好きなものや大切なものを聞き取り、理解することができる。 ●友達の発表を聞いてニュースの概要を聞き取り、理解することができる。 ●友達の発表を聞いて好きなものや所属する部活動を聞き取り、理解することができる。 ●友達の発表を聞いて紹介する人に関する話を聞き取り、理解することができる。 ●身の回りの単語やあいさつ表現などを聞き適切に認識、運用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト ・リスニングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章を読むことができる。 ●友人の書いた手紙を読んで理解することができる。 ●When, Who, Where, What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまりのある英文を読むことができる。 ●友達のフォトニュースを読んで理解することができる。 ●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章を読むことができる。 ●人を紹介する5～6文程度のまとまった英語の文章を読むことができる。 ●小学校で学んだ英語表現を見て理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・音読テスト

Sugao JHS Can Do List 1st grade

CHAPTER	TASK	SPEAKING Can Do List	WRITING Can Do List	LISTENING Can Do List	READING Can Do List	GRAMMAR Can Do List
0	身の回りの英語、あいさつ	●基本のあいさつや身近な英語表現を用いて話すことができる。	●アルファベットや簡単な単語を筆記することができる。	●身の回りの単語やあいさつ表現などを聞き適切に認識、運用することができる。	●小学校で学んだ英語表現を見て理解することができる。	◆ The Alphabet ◆ 教室で使う英語 ◆ 身の回りの英語
1	自分のことを伝えよう	●人を紹介する5～6文程度の英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。 ●スピーチの始めと終わりの表現を使うことができる。	●人を紹介する5～6文程度のまとまった文章を書くことができる。	●友達の発表を聞いて紹介する人に関することを聞き取り、理解することができる。	●人を紹介する5～6文程度のまとまった英語の文章を読むことができる。	◆ 一般動詞(1・2人称) ◆ 名詞の複数形 ◆ 疑問詞What ◆ How many ◆ 命令文 ◆ be動詞(am,are)
2	〇〇さんを紹介しよう	●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。	●自分の好きなものや所属する部活動などについて5文程度のまとまった文章を書くことができる。	●友達の発表を聞いて好きなものや所属する部活動を聞き取り、理解することができる。	●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章を読むことができる。	◆ S+V+C(形容詞) ◆ 一般動詞の3人称単数現在時制 ◆ 疑問詞Who ◆ 複数主語 ◆ 疑問詞Where ◆ S+V+O(代名詞)
3	フォトニュースを作ろう	●When,Who,Where,What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまったある英文をフォトニュース形式で発表することができる。	●When,Who,Where,What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまったある英文を書くことができる。	●友達の発表を聞いてニュースの概要を聞き取り、理解することができる。	●When,Who,Where,What isの疑問文に答える形で5～7文程度のまとまったある英文を読むことができる。 ●友達のフォトニュースを読んで理解すること	◆ 疑問詞when ◆ 疑問詞Whose ◆ 現在進行形 ◆ 疑問詞which
4	Show & Tellをしよう 手紙を書こう	●好きなものや大切なものについて書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表することができる。	●好きなものや大切なものを紹介する6～8文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●外国人の先生に手紙を書くことができる。	●友達の発表を聞いて友人の好きなものや大切なものを聞き取り、理解することができる。	●自分の好きなものや所属する部活動などについて書いた英語の文章を読むことができる。 ●友人の書いた手紙を読んで理解することができる。	◆ 過去形 ◆ 手紙の書き方

Sugao JHS Can Do List 2nd grade

CHAPTER	TASK	SPEAKING Can Do List	WRITING Can Do List	LISTENING Can Do List	READING Can Do List	GRAMMAR
0	Spring Vacation 春休みの体験	●春休みまたは最近の自分の体験を友人の前で発表することができる。 ●一日の流れを過去形を使って発表することができる。	●春休みまたは最近の自分の体験を3~4文程度の文章にまとめることができる。 ●一日の流れを過去形で表現することができる。	●友人の発表を聞き春休みまたは最近の友人の体験を理解することができる。 ●一日の出来事を聞いて理解することができる。	●春休みまたは最近の自分の体験をまとめた文章を読むことができる。 ●友人の書いた日記を読んで一日の流れを確認することができる。	◆1年生で学習した既習事項 ◆過去形(be動詞) ◆S+V(be動詞以外)+C(形容詞) ◆過去進行形 ◆複文(接続詞when) ◆S+V+O(that節) ◆There+be動詞
1	日記を書こう	●人名画の人物の心情を想像しながらスキットを演じることができる。	●名画の人物が言いそなうなことを想像して、せりふを英語で書くことができる。	●友達の発表を聞いて名画の人物の心情を想像することができる。	●人名画の人物の言いそなうなセリフを読んで、心情を想像することができる。	◆未来表現 ◆天候・寒暖などをあらわすit ◆助動詞表現
2	名画がしゃべる！?	●将来の夢に関する5~7分程度の文章を聞き手に伝えるようにスピーチすることができる。	●将来の夢や志望理由に具体的な体験を肉付けしながら、5~7文程度の文章にまとめることができる。	●友達の将来の夢に関するスピーチを聞いて内容を理解することができる。	●将来の夢に関する5~7分程度の文章を読み、理解することができる。	◆to不定詞 ◆動名詞 ◆S+V+O+O ◆疑問詞why
3	将来の夢	●話し始めや終わりの言葉などを加えて、聞き手に伝わるように口頭発表することができる。	●自分が大切にしているものを、その理由も含めて10文程度の文章にまとめることができる。	●友達の発表を聞いて友人の宝物を聞き取り、理解することができる。	●友人の書いた宝物についての文を読んで理解することができる。	◆形容詞の比較級と最上級 ◆同等比較 ◆副詞の比較級と最上級 ◆複文(接続詞if)

Sugao JHS Can Do List 3rd grade

CHAPTER	TASK	SPEAKING Can Do List	WRITING Can Do List	LISTENING Can Do List	READING Can Do List	GRAMMAR
0	Do You Eat Breakfast? Pre-Lesson	<ul style="list-style-type: none"> ● Taskに挙げられている質問を使って、質問することができる。 ● 調査結果を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果をレポートにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人の発表内容を正しく聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果をよみとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年生で学習した既習事項
1	日本の伝統文化を紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 修学旅行・日本の伝統文化について写真やパンフレットを用いて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 修学旅行・日本の伝統文化について英語新聞にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 修学旅行・日本の伝統文化についての友人の発表を聞いて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 京都・奈良の地理・歴史や法隆寺の建築について読んで理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ S+V+O+C(名詞) ◆ 受動態(現在、過去) ◆ 付加疑問文 ◆ S+V+O(howなど)+to不定詞) ◆ S+V+O+O(howなど+to不定詞)
2	インタビューをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ● つなぎ言葉などを適切に用いながら、外国人の先生にインタビューをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人の先生にインタビューする質問文を書く。 ● インタビューの結果をグループで文章にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● メモを取りながら外国人の先生の話聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インタビュー内容を簡潔にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在完了(完了) ◆ S+V+O+C(形容詞) ◆ 現在完了形(継続、経験) ◆ It+is+~(for~)+to不定詞
3	大切な人について書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーチの内容を考え抑揚をつけて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が取り上げた人物について、つながり考えながら文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達の将来の夢に関してスピーチを聞いて内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 将例文を参考にしながら、スピーチの出し、本論、まとめの部分を書きだして、つながり考えながらまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在分子の後置修飾 ◆ 過去分詞の後置修飾 ◆ 関係代名詞
4	自分の考えを言おう TED TALK 中学生版	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えを、表現方法を工夫して相手にわかりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えを今までに学習した表現方法を使い、相手にわかりやすくまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 優れたプレゼンテーションを自分の意見をまとめながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 友人のまとめた文章を読んで理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ S+V+O(whatなどで始まる節)

年間指導計画

第1学年

TOTAL ENGLISH New Edition (学校図書)

月	単元名・内容	単元の目標	主な学習活動	CAN-DOとの対応	評価の観点 関 表 理 知	外国語活動との関連
4	自己紹介をしよう 友達と自己紹介をしよう	●小学校で学んだ英語表現の確認と定着を図る	●教師の英語のあいさつや自己紹介を聞き取り、その内容を理解する。 ●3人の自己紹介を聞いて、その内容を理解する。 ●クラスの前で自己紹介をする。	L S	○	英語ノート1-L1 英語ノート1-L4
	あいさつをしよう 身に着けるもの	●あいさつ表現などを通して、英語の音への意識付けを図る	●ナとタクの自己紹介を聞いて、その内容を理解する。 ●自分の名前やニックネームを友達に紹介する。 ●自分の持っているものを紹介する。	L S	○	英語ノート1-L2 英語ノート1-L5
5	The Alphabet	●アルファベットや簡単な単語の筆記及びその音声指導を通して、英語学習への意識付けを図る	●絵を写しながらA～Zの単語の発音練習をする。 ●アルファベットを書く。	L W	○	英語ノート2-L1
	身の回りの英語 あいさつ	●身の回りの単語やあいさつ表現などを通して、英語の音への意識付けを図る	●CDや教師の発音について、身の周りの英語を言う。 ●身の回りの英語を筆記する。 ●4つのあいさつをペアで練習する。	L S	○	英語ノート1-L6 英語ノート1-L8
6	好きなものは？ 一般動詞	●相手の好きなものについて尋ねたり、適切に回答することができる	●絵の中のものを、知っているだけ英語で書ってみる。	S	○	英語ノート1-L4
	数字	●相手の持っているものを尋ねたり、答えたりすることができる	●練習問題で一般動詞の肯定文、否定文の意味と使い方の理解を確認する。	L S	○	
7	先生に聞いてみよう	●0～100までの数字を習熟し、適切に運用することができる	●互いの電話番号を尋ね合う ●英語で簡単な足算、引き算をする	L S	○	数字① 英語ノート1-L3
	指示通りに動いてみよう	●好きなことや好きなスポーツについて相手に尋ねたり、答えたりすることができる	●相手の持っているものを尋ねたり、答えたりする ●whatを用いて、好きな食べ物などについて会話を ●何をいつ持っているかを尋ねたり、答えたりする	L S	○	数字② 英語ノート1-L3
9	初めまして	●命令文を用いて友達に指示を出したり、指示に合わせてジェスチャーをすることができる	●命令文を用いて友達に指示を出したり、指示に合わせてジェスチャーをする	L S	○	指示① 英語ノート2-L5
	1週間	●好きなことや好きなスポーツについて相手に尋ねたり、答えたりすることができる	●be動詞を用いて、簡単な自己紹介を取ったり、相手のことを尋ねたりする ●好きなことや好きなスポーツについて相手に尋ねたり、答えたりする	L S	○	英語ノート1-L 1, L2
9	自分のことを伝えよう	●各曜日にすることを聞き取ったり、英語で表現することができる	●各曜日にすることを聞き取ったり、英語で表現する	S W	○	英語ノート1-L8 二日の生活 英語ノート2-L7
	新しい友達	●入を紹介したり、あいさつをしたり、出身地を尋ねたりする表現を用いて会話をすることができる	●自分のことについて、3～5文程度のまとまった文章を書くことができる ●書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表する	W S	○	自己紹介④ 英語ノート1-L 1, L4
9	私の気持ち	●気持ちを表す英語を用いて、積極的に質問したり応答したりしようにすることができる	●友達を紹介しよう ●初対面のあいさつをする	L S	○	
	ホール先生の家族	●気持ちを表す英語を覚え、活用することができる	●初対面のあいさつをする	L S	○	気持ちを表す英語 英語ノート1-L2
9	何時ですか？	●時刻を尋ねたり、答えたりすることができる	●お互いの気持や状態について尋ねたり答えたりする	L S	○	
		●時刻を尋ねたり、答えたりすることができる	●1日のタイムスケジュールを尋ねたり、答えたりする ●時差について世界各地の時刻や日付を尋ねたり、答えたりする	W S	○	時を尋ねる 英語ノート2-L7

10	Lesson 6 Talking Time	アメリカの中学校	● 学校生活に関する情報を尋ねたり、答えたりすることができる	● アメリカの中学校生活を理解する ● Tell me about ~. を用いてあるトピックに関する情報を尋ねたり、答えたりする	L S	○	○	自己紹介 英語ノート1-L4
		校舎を案内しよう	● 道案内の場面面で使われる特有の表現を用いて英語をすることができる	● 道案内で使う表現を理解する。 ● 積極的に場所を尋ねたり応答したりする。	L S	○	○	道案内 英語ノート2-L5
		○○さんを紹介しよう	● 人を紹介する文を書いてまとめ、友達の前で発表することができる	● 家族や友達などについて、積極的に紹介しようとする。 ● 家族や友達などについて、紹介する。	L S	○	○	
11	C. 2 Pro Reading	ホール先生の1日	● 日常生活を話す文を読んで、内容を正しく理解し、時系列に並べることができる	● 1日の主な行動を尋ね合う ● 日常生活を話す文を読んで、時系列に並べる	W S	○	○	1日の生活 英語ノート2-L7
		日本のお正月	● 日本の伝統文化である書き初めや日本とアメリカの正月の食文化について理解することができる ● 自分ができることとできないことを発表する	● 日本の伝統文化である書き初めや日本とアメリカの正月の食文化について理解する ● 自分ができることとできないことを発表する	L S	○	○	できることとできないこと① 英語ノート2-L4
		だれのもの？	● 生徒の持ち物を取り上げ、持ち主を尋ねたり、答えたりすることができる	● 友達の持ち物を取り上げ、持ち主を尋ねたり、答えたりする	L S	○	○	
12	Word Tree Lesson 8	季節と月	● 行事が行われる時期を説明する文の内容について、正しく聞き取る/読み取ることができる	● 日本の行事の説明文/月日の言い方を聞き取ったり、読み取ったりする ● 日付を尋ねたり、答えたりする	W R S	○	○	季節と月 英語ノート2-L3
		初めての点字	● 身の回りの英語/などの絵を見て、現在進行形を用いてそれが何をしているかを表現したり、尋ねたり、答えたりすることができる	● 身の回りの英語/などの絵を見て、現在進行形を用いてそれが何をしているかを表現したり、尋ねたり、答えたりする	L S	○	○	
		ファストフード店	● ファストフード店の客と店員になったつもりで、買い物物の英語をすることができる	● ファストフード店の客と店員になったつもりで、注文やお金の支払いなどの会話をすることができる	L S	○	○	買い物物 英語ノート1-L5 英語ノート1-L6
1	Talking Time C. 3 Pro	フォトニュースを作ろう	● まとめた英文をフォトニュース形式にして、クラスの前に発表することができる	● まとめた英文をフォトニュース形式にして、クラスの前に発表する	W S	○	○	紹介 できること 英語ノート2-L4
		An All-purpose Cloth	● 風呂敷の用途や利便性を理解することができる	● 伝統文化に関する説明文を読んで、概要を把握する	R	○	○	世界の文化 英語ノート1-L6
2	C. 1. O. ⑥	会話をつなげよう	● 英語の言語活動を通して、会話をつなぐ表現を理解し、それを実際に活用することができる	● 自然な会話の流れの中から、会話をつなぐ表現を読み取ったり、その働きを答える	S	○	○	
		オーストラリアからの手紙	● 過去形を用いた手紙文の内容について、正しく読み取ることができる	● 過去形を用いた手紙文の内容について、正しく読み取る ● オーストラリアの地理、自然や動物の生態を理解する	R S	○	○	
		Show & Tellしよう	● 好きなものや大切なものを紹介することができる	● 好きなものや大切なものについて、文字数を考えず紹介する文章を書く。 ● 紹介文を友達と読み合う。	W R	○	○	
3	C. 4 Pro Reading 3	Who is Joey's Favorite Girl?	● 登場人物の関係性を正しく理解し、感情を込めて言語することができる	● 200語程度の物語を読んで、概要を把握する ● Taskの空欄に適切な語句を入れて、本文の要旨を完成する	R	○	○	
		手紙を書こう	● 例を参考にしながら、外国人の先生に手紙を書くことができる	● 英語で手紙を書くという活動を通して、英文手紙の書き方を学び、これまで以上に学んだ語彙、表現方法、文法などについての理解と定着を深める	W	○	○	

※ 評価の観点について

(一) …コミュニケーションへの関心・意欲・態度、(二) …外国語表現の能力、(理) …外国語理解の能力、(言) …言語や文化についての知識・理解

年間指導計画

第2学年

TOTAL ENGLISH New Edition (学校図書)

月課	単元名・内容	単元の目標	主な学習活動	CAN-DO との対応	評価の観点 関 表 理 知
4	Pre-Lesson Spring Vacation 春休みの体験	●春休みまたは最近の自分の体験を3~4文程度の文章にまとめ、クラスの前で発表することができる ●相撲や柔道などを取り上げて、日本文化と世界の異なる文化との関わりについて考え、過去にしたことについて尋ねたり、答えたりすることができる	●春休みの体験を生徒同士で尋ね合う ●春休みの体験を3~4文程度の文章にまとめ、それをクラスの前で口頭発表する ●相撲や柔道などを取り上げて、日本文化と世界の異なる文化との関わりについて考える ●過去にしたことについて尋ねたり、答えたりする	L S	○ ○
5	Lesson 1 Japanese Sports 日本のスポーツ	●相撲や柔道などを取り上げて、日本文化と世界の異なる文化との関わりについて考え、過去にしたことについて尋ねたり、答えたりすることができる	●相撲や柔道などを取り上げて、日本文化と世界の異なる文化との関わりについて考える ●過去にしたことについて尋ねたり、答えたりする	R L S	○ ○
5	Word Tree 家族、親類	●家族や親類関係を表す語彙を習得し、適切に運用することができる	●第3者の家族紹介を聞き取る ●絵の中から1人になりきって、家族紹介をする	L S	○ ○
5	Word Tree 辞書を使ってみよう	●英和辞書の基本的な使い方方を理解することができる ●辞書を引くことに慣れる	●絵の中から1人になりきって、家族紹介をする ●同音異義語を引き、意味の違いを見つける	R W	○ ○
5	Lesson 2 Gestures いろいろなジェスチャー	●同じ動作でも国によって意味が異なる場合があるなど、ジェスチャーと文化の多様性を理解することができる ●過去のある時点に何をしていたか尋ねたり、答えたりすることができる	●過去のある時点に何をしていたか尋ねたり、答えたりする ●I thinkを用いて、「毎月」といった難しい漢字の読み方について、グループで話し合う	R S	○ ○
6	Action! どこに何がある?	●There is/are ~. を用いて存在を表現したり、その疑問文で存在を尋ねたり、適切に応答することができる	●There is/are ~. を用いて、部屋の中にあるものを交互に言う ●Is/Are there ~? を用いて、どこに何があるか尋ねる会話をする	L S	○ ○
6	Word Tree 日記を書こう	●例文を参考にして、必要な分量の日記を、構成を考えながら過去形を用いて書くことができる	●日の流れを過去形で表現する ●書いた文を整理して、その日の日記をまとめる	S W	○ ○
6	Lesson 3 Flight to the U.K. 飛行機でイギリスへ	●入国カードや入国審査など、海外旅行に関する知識を得ることができる ●入国審査のロールプレイをすることができる	●国際線の機内放送を聞き取る ●willを用いて、これからやろうと思うことを述べたり、尋ね合ったりする ●be going toを用いて、既に決まっている予定を述べたり、尋ね合ったりする ●入国審査のロールプレイをする	L S	○ ○
7	Word Tree 天気	●天気や寒暖を表す語を用いて、国内外の都市の天気について会話をすることができる	●国内外の都市の明日の天気について、会話をする	L S	○ ○
9	Lesson 4 Word Tree Take in the U.K. イギリスの旅	●食事、買い物、旅行という場面に応じて会話をすることができる ●イギリスの料理やエジンバラ、フェスティバル、ロンドンの交通機関に関する知識を得る	●買い物客と店員の会話を音読し、内容をアレンジしてロールプレイをする ●助動詞表現を用いた文を読む	S W	○ ○
9	Word Tree 道案内	●イギリスの料理やエジンバラ、フェスティバル、ロンドンの交通機関に関する知識を得ることができる	●初対面のあいさつをする	S	○ ○
9	Lesson 5 Career Experience 職業体験	現在のロボット技術でどのようなことができるのかを理解することができる	●現在のロボット技術でどのようなことができるのかを理解する ●to不定詞の副詞としての用法を用いて、「行きたい場所」「そこで何をしたいか」を尋ね合い、結果をクラスの前で報告する	S	○

10	Action! Lesson 6 Talking Time	電話でおしゃべり The 3Rs in Germany and Japan ドイツと日本の3R Germany and Japan	●May I speak to ~?, Hold on just a minute. など、電話での応答の場面特有の表現を用いて会話をすることができる ●学校生活に関する情報を尋ねたり、答えたりすることができる ●環境問題についてのドイツと日本の取り組みを通して、その社会的な意義について理解することができる	●電話をかけて本人/本人以外が出たときの会話をする ●用件を自由に設定して会話をする ●用件を自由に設定して会話をする ●道案内で使い表現を理解する。 ●積極的に場所を尋ねたり応答したりする。	L S				
11	C. 2 Pro Reading 1	ドイツと日本の3R Red Demon and Blue Demon 泣いた赤おに	●人を紹介する文を書いてまとめ、友達の前で発表することができる ●登場人物の心情を理解し、感情を込めて音読することができる ●登場人物へ2~4文程度の手紙を書くことができる	●動名詞を用いて自分の好きなことを述べたり、尋ね合ったりする ●だれが、だれに、何をあげたかを例にならって言う ●登場人物の心情を理解し、感情を込めて音読する ●登場人物へ2~4文程度の手紙を書く	L S				
12	Lesson 7 Action! Word Tree Reading	World Heritage Sites 世界遺産 病氣・けが 私の宝物 Mother Teresa マザー・テレサ	●世界遺産に関する知識・理解を深めることができる ●自分の体調を表現することができる ●大切なものを紹介する文を書くことができる ●クラスの前で口頭発表をすることができる ●マザー・テレサの生涯の出来事を読み取ることができる	●2つまたは3つ以上のものを比較して、その結果を言ってみる(年齢、大きさ、高さなど) ●形容詞の比較級、最上級を用いて、世界遺産についてのクイズを出し合う ●体調不良を示す絵と英語表現を結びつける ●体調が悪いときの会話をアレンジしてロールプレイをする ●体調が悪いときの会話をアレンジしてロールプレイをする ●伝統文化に関する説明文を読んで、概要を把握する	L S				
3	C. 4 Pro.	自分の町を紹介しよう	●例文を参考にしながら、グループで町を紹介することができる	●辞書などを活用し、誤りを恐れず町を紹介する文を作ろうとする ●紹介する町の名所や名産品、食文化、行事などについて理解を深める	L S				

※ 評価の観点について

(コ)…コミュニケーションへの関心・意欲・態度、(表)…外国語表現の能力、(理)…外国語理解の能力、(言)…言語や文化についての知識・理解

年間指導計画

第3学年

TOTAL ENGLISH New Edition (学校図書)

月	課	単元名・内容	単元の目標	主な学習活動	CAN-DO との対応	評価の観点	
						関	理 知
4	Pre-Lesson	Do You Eat Breakfast?	●身近なテーマについて、クラスで調査したものをまとめて発表することができる	●Taskに挙げられている質問を使って、相手に尋ねて調査する ●調査結果をレポートにまとめ、クラスで発表する	L S	○	○
	Lesson	Report for Our School Trip	●京都、奈良の地理・歴史や法隆寺の建築について理解することができる	●京都、奈良の地理・歴史や法隆寺の建築について理解する ●身の回りのものの生産地や生産国を調べて、クラスの前で報告する	R L S	○	○
5	Action!	Do You Know How to...?	●「知っている」ことや、それを教えてくれた人についての会話を聞くことができる	●S+V+O (howなど+to不定詞) やS+V+O+O (how など+to不定詞) を用いて、友達と会話をします ●「知っている」ことや、それを教えてくれた人についての会話を聞く ●what to ~やwhere to ~などの疑問詞も用いて、話したり書いたりする	L S	○	○
	Word Tree	Scenery	●自然環境や生物、交通機関や公共設備を表す名詞を用いて表現したり、活用することができる	●絵を見て、景色や情景を描写する	R W	○	○
6	C. 1 Pro.	日本の伝統文化を紹介しよう	●日本の伝統文化について、受動態などを使って説明する文を書くことができる	●日本の伝統文化について、受動態などを使って説明する文を書く ●日本の伝統文化について、3～5文程度のまとまりのある英文を書く ●クラスの前で口頭発表する	S	○	
	Lesson 2	Junior High School Club Life	●アメリカのクラブ活動事情を理解することができる ●部活動に対するナナの心情を読み取ることができる	●現在完了形 (完了) やS+V+O+O (形容詞) を用いて、語句を入れ替えたりしながら友達と会話をします ●「もうやめたこと」「まだやっていないこと」などについての会話を聞き表す	R S	○	○
7	Action!	Shopping	●買い物の場面特有の表現を用いて会話をすることができる	●現在完了形 (完了) やS+V+O+O (形容詞) を用いた文を読む/書く ●値段が高すぎるとか、何色があるかなどといった買った買い物の様々な場面を設定し、客と店員の役になつて友達と会話をします	S	○	○
	Lesson 3	E-mails from the U.S. and India	●NASAやISSなどに関する情報を読み取ることができる ●インドの社会における風俗習慣や、インドの人々のものの見方や考え方などの違いを理解することができる	●自らが継続していることや身近な経験について、友達と会話をしたり、聞き取ったりする ●「～することは、私にとつて…です」という文を作り、グループ内で発表する ●現在完了形 (継続・経験) を用いた文を読む/書く	R S	○	○
7	C. 2 Pro.	インタビュアーをしよう	●つなぎ言葉などを適切に用いながら、外国人の先生にインタビュアーをすることができる ●インタビュアーの結果をグループで文章にまとめて発表することができる ●まとめた結果をクラスの前で発表することができる	●外国人の先生にインタビュアーする質問文を書く ●外国人の先生にインタビュアーする ●インタビュアーの結果を文章にまとめる ●まとめた結果をクラスの前で発表する	W S	○	○
	Reading	Energy and the Environment	●300語程度の科学に関する説明文を読んで、概要を把握することができる ●グラフの内容を正しく理解することができる ●地球温暖化と環境問題について理解を深めることができる	●Taskの空欄に適切な語句を入れて、本文の要旨を完成させる ●化石燃料の問題点を読み取る ●クリーンエネルギーに関する正誤問題に答える	W R S		○

9	Lesson 4	Speech - A Man's Life in Bhutan	●ブータンの地理と、西岡京治がブータンで行った活動を理解することができる ●スピーチを読んでナナの主張を理解することができる	●現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いて友達と会話をする ●「...に〜してもらいたい」「...に〜するよう頼む」の言い方を、身近なことを話題に、会話をしたり書いたりする ●現在分詞・過去分詞の後置修飾やS+V (ask, tellなど) +O+to不定詞を用いた文を読む／書く	R S	○ ○ ○ ○
	Lesson 5	Stevie Wonder - The Power of Music	●ステイビー・ワンダの半生を読み取り、彼の主張を理解することができる	●ステイビー・ワンダの行動をつづった英文を読み、順番に並べ替える ●関係代名詞(主格)の文を用いて、クイズを出し合う ●関係代名詞(主格)を用いて文を書く	W R S	○ ○
	Action!	On the Phone	●Could you tell him to call me? など、電話での応答の場面特有の表現を用いて会話をすることができる	●電話で伝言を頼むときの会話をする ●後でかけ直すときの会話をする	S	○
10	Lesson 6	Interesting Languages	●同じ意味のことでも、国によって表現が異なる場合があることを理解することができる ●言語の多様性について具体的な場合と共に理解することができる	●同じ意味のことでも、国によって表現が異なる場合があることを理解する ●言語の多様性について具体的な場合と共に理解する ●関係代名詞(目的格)や接触節の文を聞いて／読んでその内容を理解する ●関係代名詞(目的格)を用いて、友達と会話をしたり、発表したりする	W S	○ ○
	C. 3 Pro.	大切な人について書いてみよう	●自分を取り上げた人物について、つながりを考えながら文章を書くことができる ●スピーチの内容を書き、抑揚などを付けて発表することができる	●例文を参考にしながら、スピーチの出だし、本論、まとめの部分を書き出して、つながりを考えながらまとめる ●適切な速さや声の大きさを発表する	W	○
	Lesson 7	The Diary of Anne Frank	●アンネたちが置かれた状況や、アンネの考え・平和の尊さを理解することができる	●アンネたちが置かれた状況や、アンネの考え・平和の尊さを理解する ●S+V+O (whatなどで始まる節)を用いた文を聞いて／読んでその内容を理解する ●S+V+O (whatなどで始まる節)を用いて友達と会話をし、発表する ●「戦争がなくなる日は来ると思いますが」などの質問に答える	R	○ ○
12	Action!	Asking the Way	●道案内の場面特有の表現を用いて会話をすることができる	●路線図を見ながら、目的地までの行き方を説明し合う ●道案内の会話から、必要事項を取り取る	S	○
	C. 4 Pro.	自分の考えを言おう	●1つのテーマに対し、グループで活発に意見交換をしながら、適切な表現を選択して自分の意見を伝えることができる	●様々なものを比べて、既習の語句や文を使って自分の意見を英語で書く ●相手の意見を聞き、それに対して賛成か反対かを述べ、その理由を言う ●グループでテーマを決め、どちらを支持するか話し合う	S	○
	Reading 2	Fly Away Home 映画「グース」より	●刷り込みや渡りといった野生のガンの習性を理解することができる ●登場人物の心情を理解することができる	●Taskの空欄に適切な語句を入れて、本文の要旨を完成させる ●強勢、抑揚、句切り、語と語との連絡などに留意しながら、場面や心情に応じて音読をする ●主人公の行動をつづった英文を読み、順番に並べ替える	R	○
3	C. Pro.	わたしの人生	●過去形を使って、今までに自分が体験したことについて書くことができる ●現在形や現在完了形などを使って、現在の自分について書くことができる ●未来表現を使って、将来の自分について書くことができる	●過去形を用いて、今までに体験したことを書く ●現在形や現在完了形などを用いて、今の自分のことを書く ●未来表現を用いて、将来の自分のことを書く ●上記3つを合わせて、「自伝」にまとめる	W	○ ○ ○

※ 評価の観点について
(コ)・・・コミュニケーションへの関心・意欲・態度・(表)・・・外国語表現の能力・(理)・・・外国語理解の能力・(言)・・・言語や文化についての知識・理解

普段の授業の積み重ねで培う発信力を高めるコミュニケーション活動(帯活動)

★生徒の発信力を高めるコミュニケーション活動(帯活動)として取り組んでいる2つを紹介する。

①Who am I? Quiz

... **Guess what it is;** クイズ形式で何のことなのかを予想し、グループで話し合い、回答する

②Target sentence relay

... **One question, all answer;** 基本文となる言語材料をグループで質問し合い、自分の答え・考えを述べる

週4時間中のうち、このいずれかを発信力を高めるコミュニケーション活動の位置づけとして行い、継続している。生徒たちには、予めこれらを実践していく理由や実践することによって「(英語の授業で)こうなっていこうね」という理想を説明しており、したがって、時には難しいが頑張っていて楽しんで取り組もう、という姿勢がある。

★活動の主な流れと意図

①Who am I? Quiz

生徒はグループで着席している。

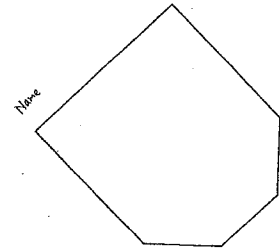
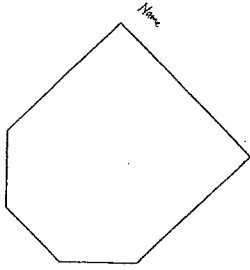
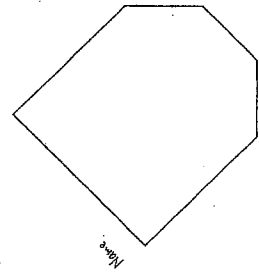
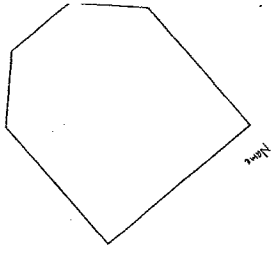
代表者はワークシート(別紙1)とペンをとりきて、準備が出来たところで開始する。指導者は答えを予め写真や絵として用意しておくが最後まで見せない。ヒントは3段階で出題し、答えの説明になるようにヒントを出す。第1ヒントは最も答えに遠いものにし、第2、第3となるごとに具体的なヒントにしていく。第1ヒントでわかったら30ポイント、第2でわかったら20、第1なら10、のポイント制にして答えをワークシートに記入する。後から答えを変えられないようにペンで書かせる。問題は2問までとし、終了後は裏にコメント欄を設けているので難しかった部分はどこか、〇〇の英語が今日分かった、など1分でミニ感想を書かせて回収する。

この活動の意図

→正解すると単純に嬉しいが、グループで「今の英語、〇〇って意味かな」と話し合っていく中で生徒同士の想像力が駆り立てられるとともに授業の空気が温められ、仲良く活動できるようになっていく。

→たとえ知らなかったことが答えだったとしても、或いは答えを間違えたとしても、そこは気にしないでいい、次は当てたいからまたやりたい、という思いに子どもたちが自発的に変化していく。

→キャラクターや政治家、時には食品やスポーツなど、さまざまな名詞を準備することで、興味関心がないことが答えであっても「今日はなんだろう、参加しよう」という意欲につなげていく。



Group () Answer

1



2

② Target sentence relay

生徒はグループで着席している。

ワークシート(別紙2)には学習し身につけてほしいターゲットセンテンス(質問文とその答え方)が最低でも6種類以上書かれている。最初の日はこれをクラスでリピートし、意味を確認し、どう答えるかの例文を確認して、言えるようにする。そして自分自身の「肉声」として例を参考にした独自の答えを言えそうなら、(例文を介して)変更していい(むしろそれがいい)と伝え、それぞれの質問にどう答えようかと各自が考え始める。さまざまな答えがあることを予測して、指導者も答えを考えるためのヒントを与える(教科書に掲載されている部分のページを伝えたり、この教室の〇〇をみると書いてあるよねと目を向けさせてみたり等)。話し出す順番を決めるじゃんけんをし、1番から時計回りで質問をし、グループ全員がそれぞれに答える(グループ内のペアにする場合もある)。自分の答えが相手と同じときは既習の "... .. too." が言えるといい、と伝えている。時間設定をし、時間内にワークシートのどこまで英文が言えたかを確認していく。各自言いたい・応えたいことがあっても、きちんと発音できなかつたり英語が素早く口から出てこなかつたりするので、簡単にはすべての文章を時間内に言い切れないが、徐々に設定時間を短くし「全部言えるようにしよう」という雰囲気にしていく。自分の思う答えがない場合、または自分の考えを言うことが難しい時には、「例文のまま言いなさい」と伝えている。しかがって、何も言わないでいることはない状態を全員が理解している。

この活動の意図

→大量に情報をインプットして練習を繰り返す、という活動を、時間設定をすることでスラスラ、または次々と英語が出てくるように(やや強制して)定着させる。これがきたらこの答え!のような、クイックレスポンスを啓発する。

→繰り返していくうちに全ての英文が言えるようになっていくので、達成感や自分も言えたという実感・自信が持てる。

→知らぬ間に英語を言いたくなってきて(時間までに全部を言いたい気持ちになってくる)、生徒同士が互いに近づいていたり、飛び上がって話していたりする中で、いつの間にか笑顔で話している。

→間違っていることを答えた、またはきちんと言えない語句がある生徒がいたとき、例えば色を尋ねているのにスポーツを答えるような生徒がグループにいたときは「ちがうよ、いまカラーだよ」と嫌味無く教えあい、語句を確認し、更に教えた生徒も自分の番がきたら答える、という作業を繰り返すので、間違えた生徒が自分の訂正をするだけでなく仲間同士で確認することが出来る。

→人を替えて複数回これを続けていくと、「さっき間違っただけど今度はもう大丈夫」のようにいえる表現が増えて生徒の自信につながっていく。また、語順ミスも減少していく。

What do you _____?

What color do you like?
eg/ I like blue.



What food do you like?
eg/ I like pizza.



What character do you like?
eg/ I like Snoopy.



What sport do you play?
eg/ I play tennis.



What Japanese food do you eat?
eg/ I eat tempura.



What music do you listen to?
eg/ I listen to SEKAI-NO-OWARI.



What anime do you watch?
eg/ I watch Ponyo.



anime 日本のマンガ
(海外モノは含みません)
※海外アニメは cartoon

What subject do you study?
eg/ I study English.



What does _____?

What color does like?
eg/ He/She likes red.



What food does like?
eg/ He/She likes Japanese dango.



What character does like?
eg/ He/She likes Stitch.



What sport does play?
eg/ He/She plays soccer.



What music does listen to?
eg/ He/She listens to San-daime J Soul Brothers.



What anime does watch?
eg/ He/She watches "yokai watch".



What subject does study?
eg/ He/She studies English.



Name	color	food	character	sport	music	anime	subject

Can you?

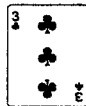
I like pizza. Can you cook pizza?
Yes, I can. / No, I can't.



I like badminton. Can you play badminton?
Yes, I can. / No, I can't.



I like number "3". Can you write "3" in English?
Yes, I can. / No, I can't.



I watch "Sore-ike! Ampam Man." Can you draw Ampam Man?
Yes, I can. / No, I can't.



※draw 絵を描く

I listen to Ikimonogakari. Can you sing Ikimonogakari's song?
Yes, I can. / No, I can't.



What do you _____?

Can you?

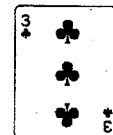
What food do you like?
eg/ I like pizza.
Good. Can you cook pizza?
Yes, I can. / No, I can't.



What sport do you like?
eg/ I like badminton.
Good. Can you play badminton?
Yes, I can. / No, I can't.



What number do you like?
eg/ I like "3".
Good. Can you write "3" in English?
Yes, I can. / No, I can't.



What anime do you watch?
eg/ I watch "Sore-ike! Ampam Man."
Good. Can you draw Ampam Man?
Yes, I can. / No, I can't.



※draw 絵を描く

What music do you listen to?
eg/ I listen to Ikimonogakari.
Good. Can you sing Ikimonogakari's song?
Yes, I can. / No, I can't.



What do you...? 何が…ですか?

like 好きです!

eg/ I like tennis.
I like ice cream.



play やってます! しています!

eg/ I play soccer.
I play video games.



want 欲しいです!

eg/ I want books.
I want new games.



have 持ってます! 飼ってます! います!

eg/ I have 2 dogs.
I have 5 pens.



eat 食べます!

eg/ I eat tuna.
I eat takoyaki.



read 読んでます!

eg/ I read novels.
I read comics.



listen to 聴いてます!

eg/ I listen to EXILE.
I listen to The Beatles.



practice 練習してます! 稽古してます!

eg/ I practice kendo.
I practice kanji.



外国語（英語）科学習指導案

川崎市立菅生中学校
指導者 外山 瑞穂

1. 日 時 2015年 6月 22日（月） 第5時限（13：30～14：20）

2. 学 級 1年1組（34名） B棟3階 1年1組 教室

元気で男女の分け隔てがなく、行事などへの取り組みが積極的である。学習に対しても前向きに取り組む意識を高く持てば全員が向上できるということを理解しているが、自分に自信がない生徒も存在する。ペアやグループの活動など活動形態を工夫しながら、意欲的に活動する雰囲気を作り、学習内容を深めるよう指導したい。

3. 単元名 学校図書 TOTAL ENGLISH 1 LESSON 1, 2 and 3
- 「自分のことを伝えよう」 Chapter Project 1 -

4. 単元観

本単元では、自分の好きなもの、紹介できるものを Show and Tell 方式で（実物を持参またはその写真を TV 画面に投影し説明）クラスの仲間に語りかけるように発表することを通して、「自分のことを伝える」ことをめざしている。LESSON 1, 2そして3で学習したことを総合的に活用した中学校に入学して初めての自己表現活動である。本時までに like をはじめとする基礎動詞（一般動詞）や語句の導入が済んでいることを応用し、積極的に仲間に伝え、また仲間の発表した英語を理解する。自分の言葉が伝わったという実感や英語で発表できたという達成感を各自が得ることを意図した上で、以降の言語活動の向上にもつなげていきたい。

5. 単元の目標

- (1) 間違ふことを恐れず、ここまでに学習したことを生かして ALT やクラスの仲間に自分のことを口頭で発表する。
- (2) 既習事項を活用し自分のことを紹介する。
- (3) 仲間の自己紹介を聞いて理解、それについての質問をすることができる。
- (4) 学習した語句（like をはじめとする基礎的な一般動詞）を理解し、各自の伝えたいことに応じた語句を用いて、スピーチ原稿としてまとまりのある英文を作成している。

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと・書くこと

6. 評価規準

ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ) 外国語表現の能力	ウ) 外国語理解の能力	エ) 言語・文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず、ここまでに学習したことを生かして ALT やクラスの仲間に自分のことを口頭で発表しようとしている。	既習事項を活用し自分のことを紹介することができる。	仲間の自己紹介を聞いて理解し、それについての質問をすることができる。	学習した語句（like をはじめとする基礎的な一般動詞）を理解し、各自の伝えたいことに応じた語句を用いて、スピーチ原稿としてまとまりのある英文を作成している。

◎「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

『他を尊重し自己を発信できる生徒の育成』第1学年				
	話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
到達目標	自己についてまとまりのある英文で表現することができる。	自己について簡単なつながりのある文を書くことができる。	簡単なスピーチを聞いて理解することができる。	まとまりのある英文を読んで書かれた内容や考え方などをとらえることができる。

7. 指導計画

時間	○ねらい・学習活動	単元の 評価規準	評価場面・方法
第1時	○発表活動があることを伝達し英語で自己紹介をする意図を説明する。 ・既習の動詞を確認し、自己紹介に活用できる語句を考えさせる。 ・発表活動イメージを持たせるサンプルとして過去の事例を video で見せ、何を仲間に伝達するか考え、原稿作成する。	エ	後日発表活動
第2時	○発表原稿を作成する。その2（グループで活動） ・サンプル原稿を読み合わせ、自分の発表についてブレインストームする ・Show and tell 方式の発表を考えさせる。 ・学習支援が必要な生徒に配慮する。	エ	後日発表活動 (原稿を提出し英文のまとまりを確認)
第3時	○発表原稿の確認をし、グループで発表練習をする。 ・工夫できる箇所を小グループで互いに聞きあい、アドバイスしあう。 ・伝え方や声の大きさ、英語の発音の確認などを仲間で教えあう。	アイウ	後日発表活動
第4時 (本時)	○グループで再度練習し最終確認をした後、発表する。 ・発表する達成感を味わうための「ルール」を確認する。 ・ワークシートの記入をする。	アイウ	発表活動
第5時	○振り返り活動として、他クラスの発表を video にて共有する。 ・今回の発表活動を以降の言語活動につなげる。	ウ	後日ペーパーテスト

8. 本時の目標

- ・自分のこと（得意なことや好きなものなど）を、学習した英語を用いて ALT やクラスの仲間に伝える。
- ・スピーチ原稿としてまとまりのある英文を完成させ、口頭での発表活動に生かす。

9. 本時の展開

※記号： **W**... whole class **G**... work in groups **P**... work in pairs

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを交わし、曜日と天気の確認をする。 ・個人にも（日替わり）数名あいさつを交わす。 <p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Who am I? Quiz …帯で行っている協同学習動機づけ活動（リスニング） 教師が何に成り代わって自己紹介しているか考える。 ・45 Seconds' Challenge …既習の動詞を用い一問一答形式で行うトークラリー A to B: I like basketball. What do you like? B: I like tennis. B to C: I play baseball. What do you play? C: I play the piano. C to D, D to A, A to B ... rotating for 45 seconds 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの反応により声掛けを工夫する。 ・机間指導しながら支援する。 ・グループで協力し合いながら取り組むよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違うことを恐れず、意欲的にグループで活動を行っているか。
展開	<p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿を各自準備し、発表の練習を行う。 ・グループ内で発表し互いにアドバイスしあう。 ・活発な意見交換をし、本時の発表を向上させる。 ・良い発表を確認しあい、発表に自信を持つ。 <p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自発表準備（映像や持参したもの）をする。 ・発表順を再確認する。 ・発表マナーや聞く態度、ワークシートの確認をする。 ・しっかり発表を見る。 ・Do you? を使って発表者への質問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の制限を設け、本時の活動に意識を持たせる。 ・発表者が過度に緊張していないか、状況に応じて支援する。 ・生徒がグループで練習した時と同じように準備した通りにできるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のルール確認を意識しているか。 ・発表者に注意を向け仲間の発表を聞くようしているか。 ・間違うことを恐れず、できるだけ原稿を見ずに自分の紹介を仲間に伝えようとしているか。

	<p>◎評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒も模擬評価者として発表を見て、ワークシートに記入する（別紙） ・評価は観点を元に3段階で評価する <ul style="list-style-type: none"> A*（表現が豊かで工夫があり、聞き手にわかりやすく自分のことを伝えていた） A（必要条件を満たし学習した数種類の動詞を活用できているがもう少し工夫があっても良かった） B（必要条件はだいたい満たしていたが動詞が like のみに留まるなど表現が限定的なものであった） <p>・自分自身の発表後は、自己振り返り欄に記入する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿としてまとまりのある英文を構成し、発表活動に生かしているか。 ・ワークシートに記入しているか。
<p>まとめ</p>	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の発表活動を振り返る。 ・全員で初めての発表活動を称えあう。 ・元気に授業終わりのあいさつをする。 ・発表原稿を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①他者の発表を見て刺激を受ける面白さ ②それを次回の授業での言語活動につなげる展望を生徒が持てるようフィードバックをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて発表できた達成感を共有できているか。

10. 本時の評価

- ・自分のこと（得意なことや好きなものなど）を、学習した英語を用いて ALT やクラスの仲間に伝えることができたか。
- ・スピーチ原稿としてまとまりのある英文を完成させ、口頭での発表活動に生かすことができたか。

自学のすすめ

自学とは、読んで字のごとし、「自分で学習する」ことです。勉強はさせられるものではなく、自ら進んでするものです。意味もわからず、強制されたことをするのは苦痛ですが、自分で興味を持ったことや、解決したいことには意欲的に取り組みますね。

自学帳はそのためのものであり、単に学力だけでなく、自主性も育ててくれます。自学帳を有効に利用して実りのある学習をしましょう。

自学帳の使い方

- ・ノートはあまり厚くない方がよい。1年生の最初の頃は四線野ノートを使うとアルファベットが正確に書けるようになる。ノートの使い方は自由。
- ・自学帳の表紙には日本語でクラス、出席番号、氏名を書き、「自学帳 No. 99」などと何冊目かを書く。
- ・ノートには必ずページ番号を書いておく。卒業まで何ページががんばれるか、自分に期待しよう。
- ・その日の自学の一番最初の行に日付と氏名を書く。たとえば、橋本先生の誕生日から自学を開始する人は、Monday September 28th Shinichi Hashimoto と書く。(プレゼントはいらない)
- ・自学メニューからその日の学習テーマを選択する。どれをどの順番で選んでもよいし、いくつでもよい。自分のやりたいテーマをやりたいだけ選んでやろう。

Category A : まとめ、構造理解、公式発見、単語集め、授業の復習など

Category B-1 : 暗記のための練習 (単語は10個、文は5個、内容は音読10回)

Category B-2 : 自己診断テスト

Category C : 覚えた文の語句を入れ替えて新しい文を作る練習

Category D : 今までに学習した英文を使って、自分の意志を表したり、説明したりする

Category E : 通信 (感想、反省、質問など)

- ・一つ一つの作業にカテゴリー名、テーマを書く。これをするとう効率のいい勉強法がわかるようになる！(例：B-1 大文字の練習をする)
- ・勉強量は他の教科との兼ねあわせで決める。また、毎日自学をしてもよいし、しない日があってもよい。
- ・家庭学習は自学帳さえあればほとんどカバーできるので、どんどん自学をしよう。自学をしていれば勉強の仕方がわからないということはない。
- ・自学帳は少なくとも1週間に1度は出そう。
- ・毎朝、職員室の橋本先生の机上に提出してください。下校までに生徒用ポストに返却してあるはず…
- ・自学帳の最後のページには、(カテゴリーE-7の) 反省と感想を書く。

※このプリントは自学帳No. 1の最初のページに貼っておいてください。

Category A : 〈理解しよう〉まとめ、構造理解、公式発見、単語集め、授業の復習など

1. ある日の出来事をまとめる
2. 1 minute talk のオリジナルを作る
3. 日記をまとめる
4. You look ~ の表現をまとめる
5. 家族や親族についての表現をまとめる
6. 辞書の使い方をまとめる
7. 過去進行形の表現をまとめる
8. When の接続詞の表現をまとめる
9. I think の表現で意見を主張する
10. There is / There are の表現をまとめる

Category B-1 : 〈覚えよう〉暗記のための練習

1. ある日の出来事を覚える
2. 1 minute talk のオリジナルを覚える
3. 日記を覚える
4. You look ~ の表現を覚える
5. 家族や親族についての表現を覚える
6. 辞書を引いて新出単語をノートにまとめる
7. 過去進行形の表現をまとめる
8. When の接続詞の表現を覚える
9. 意見文を覚える
10. There is / There are の表現をまとめる

Category B-2 : 〈覚えたかな?〉自己診断テスト

1. 自己診断テスト「ある日の出来事」編
2. 自己診断テスト「1 minute talk のオリジナル」編
3. 自己診断テスト「日記」編
4. 自己診断テスト「You look ~ の表現」編
5. 自己診断テスト「家族や親族についての表現」編
6. 自己診断テスト「新出単語」編
7. 自己診断テスト「過去進行形の表現」編
8. 自己診断テスト「When の接続詞の表現」編
9. 自己診断テスト「意見文」編
10. 自己診断テスト「There is / There are の表現」編

Category C : 〈新しい文を作ろう!〉覚えた文の語句を入れ替えて新しい文を作る練習

1. ある日の出来事を書く
2. 1 minute talk のオリジナルを作る
3. 日記を書く
4. You look ~ の表現を使って書く
5. 家族や親族について書く
6. I think の表現で意見文を書く
7. There is / There are の表現を使って部屋のレイアウトを説明する文を書く

Category D : 〈使ってみよう〉今までに学習した英文を使って、自分の意思を表したり、表現したりする ※暗唱できたら☆

1. 英語である日の出来事をスピーチする
2. 1 minute talk をする
3. 日記を書く
4. You look ~ の表現を使って会話を作る
5. 家族や親族について紹介する
6. I think の表現を使って意見文をまとめる
7. There is / There are の表現を使って部屋のレイアウトを説明する
1. 英語で

Category E : 〈徒然なるままに〉通信（感想、反省、質問など）

1. Category B-2 をやってみた感想
2. 今日の間違い探し（案外気がついていないかも…）
3. 先生に質問
4. 先生に言いたいこと（励まし）
5. 授業でやってみたいこと

One Minute Chat have to~ (2年生) No. 12

	English	/	/	/	Japanese
1	Hello. How are you?				こんにちは。げんき？
2	I'm fine. How about you?				元気だよ。あなたは？
3	I'm fine, too. Do you have to work this weekend?				ぼくも元気だよ。週末何か用事があるの？
4	No, I don't. How about you?				ないよ。きみは？
5	I don't have to work, either.				僕も用事ないよ。
6	Shall we go to Sibuya, then?				じゃあ、渋谷に行かない？
7	Great idea. Let's take the bus and train.				いいね。バスと電車で行こう。
8	Sound exiting! How long does it take to Shibuya?				わくわくするな。渋谷までどのくらいかかるの。
9	About one hour and 15 minutes.				だいたい1時間15分くらいかな。
10	It's close! Let's go to HIKARIE.				近いね。ヒカリエに行こうよ。
11	What will you do there?				そこで何するの？
12	I will go shopping. I want new shoes.				買い物するんだ。新しい靴を買うんだ。
13	What will you do there?				君は何するの？
14	I will eat sweets. There are a lot of sweets.				スイーツを食べるんだ。たくさんスイーツがあるんだ。
15	Oh, that's good. I get hungry.				へー、そいつはいいね。お腹空いてきちゃった。

/	/	/	/

Class	No.	NAME

与えられたテーマに関して、自分の意見を交えながら、1分間会話を続けることができる。

	Day1	Day2	Day3	Day4
①ワークシートを見ながらであっても、会話を続けることができる。				
②ワークシートを見ながらであれば、会話を続けることができる。				
③話題を変えながらであれば、ワークシートを見なくても、1分間会話を続けることができる。				
④与えられたテーマに関して、自分の意見を交えながら、1分間会話を続けることができる。				

外国語（英語）科学習指導案

川崎市立菅生中学校
指導者 橋本 慎一

1. 日時 2015年 6月 1日（月） 第6時限（13：30～14：20）

2. 学級 2年1組（36名） B棟2階 2年1組 教室

明るく元気で行事などへの取り組みも積極的である。学習に対しても前向きに取り組んでいるが、発表や発言を求め場面になると、消極的になってしまう生徒が多い。ペアやグループの活動など活動形態を工夫しながら、積極的に発言する雰囲気を作り、学習内容を深めるよう指導したい。

3. 単元名 学校図書 TOTAL ENGLISH2 LESSON1 - Japanese Sports -

4. 単元観

本単元は、ホール先生が相撲部屋の朝稽古見学ツアーに参加したときの体験を、タクたちに話し、先生がしている日本のスポーツについて話が広がるという内容である。

相撲部屋の見学ツアーに参加した体験を紹介するために、過去の表現を適切に使いながらわかりやすく日本のスポーツを紹介している。また、その紹介に対して過去の表現を用いながら話題を広げている。したがって、日本のスポーツを紹介するために必要な表現や質問をするときに必要な表現を教科書を通して学び、英語を使って日本のスポーツを紹介し、質問することができる力を養う。

5. 単元の目標
- (1) 日本のスポーツについてわかりやすく紹介する。
 - (2) 間違ふことを恐れず、意欲的に表現活動を行う。
 - (3) 過去を表す文の構造を理解する。

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと

◎ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標『他を尊重し自己を発信できる生徒の育成』第2学年

	話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
到達目標	自己についてまとまりのある英文で表現することができる。	自己について簡単なつながりのある文を書くことができる。	簡単なスピーチを聞いて理解することができる。	まとまりのある英文を読んで書かれた内容や考え方などをとらえることができる。

6. 評価規準

ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ) 外国語表現の能力	ウ) 外国語理解の能力	エ) 言語・文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず、意欲的に表現活動を行おうとしている。	日本のスポーツについて、わかりやすく紹介することができる。	日本のスポーツについて、聞いて理解することができる。	過去を表す文の構造を理解している。

7. 指導計画

時間	ねらい・学習活動	単元の評価基準	評価場面・方法
第1時	be動詞の過去形の文構造を理解し、昨日の出来事について会話する。	エ	後日ペーパーテスト
第2時	ホール先生が相撲部屋の朝稽古見学ツアーに参加したときの体験談を聞いたり、読んだりして理解する。	ウ	ハンドアウト
第3時	be動詞の過去形の疑問文構造を理解し、人物当てをする。	エ	後日ペーパーテスト
第4時	体験談に対する生徒の質問を聞いたり、読んだりして理解する。	ウ	ハンドアウト
第5時	「～のようにみえます。」という表現を学び、感情当てクイズをする。	ア	後日ペーパーテスト
第6時 (本時)	ホール先生の柔道についての体験談を聞いたり、読んだりして理解することができる。	ウ	ハンドアウト
第7時	グループで Picture card を使いながら、本文中の過去の表現を用いて日本のスポーツについて紹介する。	イ	発表活動

8. 本時の目標

- ・ホール先生の柔道についての体験談を聞いたり、読んだりして理解する。

9. 本時の展開

※記号： **W**... whole class **G**... work in groups **P**... work in pairs

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>W あいさつをする。</p> <p>P One Minute Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで会話表現を練習する。 ・ペアで相手を変て、1分間自由会話を行う。 ・代表ペアが1分間自由会話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの反応により声掛けを工夫する。 ・机間指導しながら支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず、意欲的に表現活動を行っているか。
展開	<p>W 本文の聞き取りを行う。 Picture card を見ながら本文に関する聞き取りを行い、本文に関して興味関心を持つ。</p> <p>P 新出単語を確認する。 ペアで新出単語を確認する。 新出単語を使ってオリジナルの文を作る。 単語の発音練習を行う。</p> <p>G 本文に関するQ&Aに答える。 グループで協同しながら答えを考える。 答えの根拠となる箇所にアンダーラインを引く。 本文を参考に答えを導き出す。</p> <p>W 本文の内容確認 Q&Aに答えながら本文の内容を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. When does Ms. Hall practice judo? 2. What does Ms. Hall look like? 3. Do many people around the world do judo today? 4. Who uses Japanese words in judo matches? <p>W 本文の音読をする。 ①Chorus Reading ②Buzz Reading ③穴あき Reading ④Picture Reading</p> <p>代表生徒が Picture Reading をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が聞き取れるよう補助的な知識を与える。 ・ペアで協力して取り組むよう励ます。 ・グループで話し合いながら取り組むよう支援する。 ・生徒とインタラクションをとりながら内容を確認する。 ・読みにくいところを支援する。 ・代表生徒を評価し、ポイントを全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意を向け授業に取り組もうとしているか。 ・ペアで協力して取り組んでいるか。 ・グループで協力しているか。 ・日本のスポーツについて、聞いて理解しようとしているか。 ・相手を意識して音読しようとしているか。
まとめ	<p>W あいさつ 元気よくあいさつをする。</p>		

10. 本時の評価

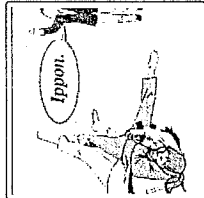
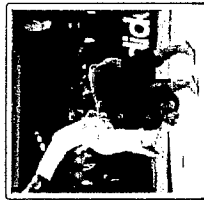
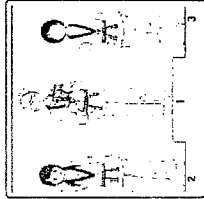
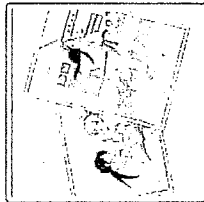
- ・ホール先生の柔道についての体験談を聞いたり、読んだりして理解することができたか。

Date _____

Class No. _____ Name _____

2年生 Lesson1C

1. 本文を聞いて次の質問に英語で答えましょう。



How does Ms. Hall look in the picture?

2. 新出単語チェックしよう。3つ以上の新出単語を使ってオリジナルの文を作ろう！
(本文をまねしよう！まなぶとまねる)

look () strong () champion ()

Olympic () word () international ()

match () referee () around the world ()

.....
.....
.....

3. 次の質問に英語で答えましょう！
(本文から答えになる文を探し出してアンダラインを引くといいよ！)

1. When does Ms. Hall practice judo?

2. What does Ms. Hall look like?

3. Do many people around the world do judo today?

4. Who uses Japanese words in judo matches?

5. ペアで本文を再生しましょう。音読ができたなら Picture Card で再生しましょう。
(Tips: エントを出すときはもったいぶって小出しにしよう。)

Ms. Hall: Look these . I judo.

I it Saturday.

Taku: You strong.

Ms. Hall: I strong, Taku.

Maya: You look an Olympic !

Ms. Hall: Today people the world judo.

Taku: I . It's an sport.

Ms. Hall: Yes.

In judo , referees Japanese

Really?

Maya:



音読チェック ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ふかろ

外国語（英語）科学習指導案

川崎市立菅生中学校
指導者 大林 篤生

1. 日時 2015年 7月 9日（木） 第5時限（13：30～14：20）

2. 学級 2年4組（36名） B棟1階 2年4組 教室

概ね活気のあるクラスに見えるが、なかなか自分から発言できない内気な生徒もいる。一旦集中力を欠くと、落ち着きのない雰囲気になってしまうこともあるが、授業に対しては概ねまじめに取り組む生徒が多いクラスである。

3. 単元名 学校図書 TOTAL ENGLISH 2 LESSON 3
- Flight to the U.K. 飛行機でイギリスへ -

4. 単元観

本単元では、海外旅行での出来事を通して、今後の予定など未来の表現を読んだり聞いたりして理解し、また適切に話したり書いたりして表現できることをめざしている。また、生徒たちはスキット作りを通して、海外旅行における未来表現を疑似体験している。そこでは、生徒たちには話の流れに合わせた自己発信をさせたい。そして、仲間の発表した英語を理解する。自分の言葉が伝わったという実感や英語で発表できたという達成感を各自が得ることを意図した上で、以降の言語活動の向上にもつなげていきたい。

5. 単元の目標

- (1) 入国カードや入国審査など、海外旅行に関する知識を得る。
- (2) 間違ふことを恐れず、意欲的に未来表現を使って表現しようとしている。
- (3) will や be going to を用いて、適切に話したり書いたりして表現できる。
- (4) will や be going to を用いて、今後の予定を読んだり聞いたりして理解できる。
- (5) will や be going to を用いた未来表現の文構造を理解する。

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと・書くこと

6. 評価規準

ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ) 外国語表現の能力	ウ) 外国語理解の能力	エ) 言語・文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず、意欲的に未来表現を使って表現しようとしている。	これから先の予定について表現したり、相手に尋ねたり、応答することができる。	今後の予定を読んだり聞いたりして理解できる。	入国カードや入国審査など、海外旅行に関する知識を得る。will や be going to を用いた未来表現の文構造を理解する。

◎「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

『他を尊重し自己を発信できる生徒の育成』第2学年				
	話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
到達目標	自己についてまとまりのある英文で表現することができる。	自己について簡単なつながらのある文を書くことができる。	簡単なスピーチを聞いて理解することができる。	まとまりのある英文を読んで書かれた内容や考え方などをとらえることができる。

7. 指導計画

時 間	○ねらい ・学習活動	単元の 評価規準	評価場面・方法
第1時	<p>○will を用いた未来表現の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書3Aの本文を聞いたり読んだりすることにより、飛行機の機内放送の詳細を理解する。 will を用いて、これから先の予定などについて話したり書いたりする。 	ウエ	作文活動 会話活動
第2時	<p>○will を用いた未来表現の疑問文と否定文の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> will を用いて、これから先の予定を尋ね、状況に合わせて適切に応答する。 ペアでお互いの予定を尋ねたり答えたりする。 教科書3Bの本文を聞いたり読んだりすることにより、機内でのタクと隣の女性との会話について、その内容を理解する。 	イウエ	会話活動
第3時	<p>○be going to を用いた未来表現の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> be going to を用いて、これから先の予定などについて表現する。 教科書3Cの本文を聞いたり読んだりすることにより、機内放送や、タクと女性の会話について、その内容を理解する。 	ウエ	会話活動
第4時	<p>○未来表現を使ったスキットを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> will/be going to の文構造の復習。 発表活動のイメージを持てるよう、教科書本文を演じたDVDを見る。 旅行代理店のパンフレットを見ながら、様々な海外の国のイメージを膨らませ、3～4人のグループでスキット作りに取り組む。 	イ	作文活動 原稿提出
第5時	<p>○スキット作りの手直し及び練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 添削されたスキット原稿を見直し、手直しし・練習する。 	イ	作文活動 原稿提出
第6時 (本時)	<p>○グループで再度練習し最終確認をした後、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表する達成感を味わうためのルールを確認する。 ほかのグループの発表を見てワークシートの記入をする。 	アイウ	発表活動

8. 本時の目標

- ・ここまでに学習したことを生かしてクラスの仲間に自作のスキットを発表しようとしている。
- ・スキットの原稿としてまとまりのある英文を完成させ、口頭での発表活動に生かす。

9. 本時の展開

※記号：**W**... whole class **G**... work in groups **P**... work in pairs

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを交わし、曜日と天気の確認をする。 ・個人にも（日替わり）数名あいさつを交わす。 <p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Lesson チャンク …帯で行っている協同学習活動（暗唱） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの反応により声掛けを工夫する。 ・机間指導しながら支援する。 ・ペアで協力し合いながら取り組むよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違うことを恐れず、意欲的にペアで活動を行っているか。
展開	<p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿をそれぞれ準備し、発表の練習を行う。 ・グループ内で発表し互いにアドバイスしあう。 ・意見交換をし、よりよい発表を目指す。 ・良い発表を確認しあい、発表に自信を持つ。 <p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自発表準備（映像や持参したもの）をする。 ・発表順を再確認する。 ・発表マナーや聞く態度、ワークシートの確認をする。 ・しっかり発表を見る。 ・各グループの発表をワークシートに評価する。 ・発表グループへの質問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の制限を設け、本時の活動に意識を持たせる。 ・発表者が過度に緊張していないか、状況に応じて支援する。 ・生徒がグループで練習した時と同じように準備した通りにできるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のルール確認を意識しているか。 ・発表者に注意を向け仲間の発表を聞くようしているか。 ・間違うことを恐れず、できるだけ原稿を見ずに自分の紹介を仲間に伝えようとしているか。
<p>◎評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒も模擬評価者として発表を見て、ワークシートに記入する（別紙） ・評価は観点（態度、発音、内容、WAO!）を元に4段階で評価する(WAO!は有無のみ) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表グループへの質問をする。 ・自分自身の発表後は、自己振り返り欄に記入する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スキット原稿としてまとまりのある英文を構成し、発表活動に生かしているか。 ・ワークシートに記入しているか。
まとめ	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の発表活動を振り返る。 ・全員で初めての発表活動を称えあう。 ・元気に授業終わりのあいさつをする。 ・発表原稿を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①他者の発表を見て刺激を受ける面白さ ②それを次回の授業での言語活動につなげる展望を生徒が持てるようフィードバックをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて発表できた達成感を共有できているか。

10. 本時の評価

- ・ここまでに学習したことを生かしてクラスの仲間に自作のスキットを発表できたか。
- ・スキットの原稿としてまとまりのある英文を完成させ、口頭での発表活動に生かすことができたか。

配役を決めよう。

名前	配役
■■■■	店員
■■■■	友達
■■■■	旅行者
■■■■	友達

シナリオとそれぞれ自分のセリフ (英語) を考えよう。

旅行者	They arrived Anhourumatto yesterday.
友	Where will we go?
友	Um... Today is hot! We will go to buy something cold.
友	Oh! That's a good idea. I know a good shop.
友	Let's go to there!
旅行者	So, they go to "Pukapuka".
友	Hello! What will you take?
友	Please, two Mongou 777.
友	OK. Here you are.
友	Thank you.
友	Um... very delicious.
友	Um... very delicious.

2年 組 番 班 (名前)

配役を決めよう。

名前	配役
■■■■	主人公
■■■■	友達
■■■■	警察官
■■■■	旅行者

シナリオとそれぞれ自分のセリフ (英語) を考えよう。

旅行者	They arrived in France.
	They will go to Paris now.
	Then a police officer talks to them.
警察官	Excuse me.
	What are you doing?
主人公	We will go to Paris now.
警察官	Where in Paris are you going?
友達	We will go to 12-7th street.
警察官	What time?
主人公	we will eat lunch after that.
旅行者	Really?
友 & 主	Yes.
旅行者	Oh! ok Enjoy your stay!
友 & 主	Thank you.
旅行者	They had a good time.

2年 組 番 班 (名前)

自分の班には、自己評価・反省を書いてね。

スキット評価シート

月 日

順番	班	Theme(テーマ, 大まかな内容) 班への質問 (英語で)	Attitude (態度)	Pronunciation (発音)	contents (内容)	WAO! (わお!)
1		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
2		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
3		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
4		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
5		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
6		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
7		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
8		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0
9		内容: 質問:	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	0

2年 組 番 班 (名前)

④ Very good! ③ Good! ② Not bad. ① Too bad...

外国語（英語）科学習指導案

川崎市立菅生中学校
指導者 伊豆 典子

1. 日 時 2015年 9月 14日（月） 第5時限（13：30～14：20）

2. 学 級 3年4組（40名） A棟4階 3年4組 教室

明るく元気で男女の分け隔てがなく、行事などへの取り組みが積極的である。学習に対しても前向きに
取り組み、積極的にコミュニケーションをはかろうとする生徒が多いが、英語に対して苦手意識を持って
いる生徒も存在する。ペアやグループの活動など活動形態を工夫しながら、協力して意欲的に活動する雰
囲気を作り、学習内容を深めるよう指導したい。

3. 単元名 学校図書 TOTAL ENGLISH 3 Chapter2 Project「インタビューをしよう」

4. 単元観

本単元では、他者に英語でインタビューすること、インタビューを通して知った内容をクラスの中で発
表する活動を通して、「他者の話を聞き、聞いた内容をまとめて別の形で発信し、他者と情報を共有する」
ことをめざしている。そのために、英語を使ってインタビューをし、その内容をまとめて発表できる力を
育成したい。これまでに学習したことを総合的に活用した自己表現活動である。

5. 単元の目標

- (1) これまでに学習したことを生かしてALTの先生にインタビューをする。
- (2) インタビューしたことをまとめ、発表する。
- (3) 仲間の発表を聞いて理解し、それについての質問をする。
- (4) 間違ふことを恐れず、意欲的に表現しようとする。
- (5) 会話でよく使う表現を理解し、インタビューの中で必要に応じて使う。

※「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連 → 聞くこと・話すこと・書くこと

	聞くこと	話すこと	書くこと	読むこと
到達 目 標	まとまりのある英語 を聞いて、概要や要点 を聞き取ることがで きる。	与えられたテーマにつ いて自分の意見や思い を含めた会話やスピー チをすることができる。	与えられた課題につい て、つながりとまとま りを意識した英文を書 くことができる。	まとまりのある英文を 読み書かれた内容や考 え方への大筋をとらえ ることができる。

6. 評価規準

ア) コミュニケーション への関心・意欲・態度	イ) 外国語表現の能力	ウ) 外国語理解の能力	エ) 言語・文化について の知識・理解
間違ふことを恐れず、意 欲的に表現活動を行お うとしている。	これまでに学習したことを いかしてALTの先生にイン タビューすることができる。 またその内容をまとめ、 発表することができる。	仲間の発表を聞いて理 解し、それについての 質問をすることができる。	会話でよく使う表現を 理解し、インタビューの 中で必要に応じて使う。

7. 指導計画

時 間	○ねらい ・ 学習活動	単元の 評価規準	評価場面・方法
第1時	○質問項目を考える。(グループで活動) ・グループで決まったテーマについて質問内容を考える。 ・答えを想定して、更に深く質問する言い方なども確認する。	イウ	ハンドアウト
第2時 (本時)	○質問をして、その内容を発表する形にまとめる。 ・実際に質問をする。 ・答えの内容をメモする。 ・答えの内容をもとに、発表原稿を作る。 ・聞き逃したことなどを再度質問する。	イウエ	後日発表活動 (原稿確認)

第3時	○グループで発表内容を確認した後、発表する。 ・発表内容を確認し、グループで練習する。 ・発表をする。 ・ワークシートの記入をする。 ・発表内容についての質問をする。 ・質問された内容について、グループで協力して答える。	アイウ	活動の観察
第4時	○発表のビデオを見て、振り返りをおこなう。 ・ビデオを見て振り返りを行う。 ・発表時に答えられなかった質問について、答える。	アイウ	活動の観察

8. 本時の目標

- ・ALTの先生に質問をし、答えの内容を聞き取る。
- ・聞き取った内容を発表する形にまとめる。

9. 本時の展開

※記号：W... whole class G... work in groups P... work in pairs

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・日直が曜日と天気の確認をする。 ・日直が単語ゲームを行う。 <p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・One Minute Talk …帯で行っている会話活動 ・ペアで相手を変えて、1分間自由会話を行う。 ・代表のペアが1分間自由会話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの反応により声掛けを工夫する。 ・机間指導しながら支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず、意欲的に表現活動を行っているか。
展開	<p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容を確認する。 ・インタビューをする。 <p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えの内容をもとに、発表原稿を作る。 ・グループで協力して発表の準備を行う。 <p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿を作る中で、確認したい内容があれば再度質問をする。 <p>G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の班のテーマについて、自分ならば聞いてみたいことを考えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する答えの内容をもとに、更に深く質問できるよう支援する。 ・インタビューした内容をもとに、発表に向けて、わかりやすく原稿を作ることができるよう支援する。 ・机間巡視をし、質問にはその都度対応する。 ・他の班の発表を関心を持って聞くことができるよう、意識づけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に質問しているか。 ・会話でよく使う表現を理解し、インタビューの中で必要に応じて使えているか。 ・質問に対する答えを理解しているか。 ・発表に向けて、まとまりを意識した原稿を書くことができるか。
まとめ	<p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の発表活動に向けて確認をする。 ・発表原稿を提出する。 		

10. 本時の評価

- ・ALTの先生に質問をし、答えの内容を聞き取ることができたか。
- ・聞き取った内容を発表する形にまとめることができたか。

One Minute Talk 食べ物紹介

Class No. Name:

1 A	Have you ever eaten <i>chinsukou</i> ?				ちんすこうって食べたことある？
2 B	<i>Chinsukou</i> ? I've never eaten it. Whata's that ?				ちんすこう？ 一度も食べたことない。 それ何？
3 A	It's a kind of sweets from Okinawa.				沖縄のお菓子だよ。
4 B	Okinawa ? Did you go to Okinawa ?				沖縄？ 沖縄に行ったの？
5 A	No, no. My brother went there and bought it. It's like a cookie.				ちがうよ。うちの兄ちゃんが行って買ってきたんだ。 クッキーみたいだよ。
6 B	Oh, I want to eat it.				へえ、食べてみたいな。
7 A	Ok. I'll bring some tomorrow.				いいよ。明日持ってくるよ。
8 B	Thank you. By the way I ate <i>yubeshi</i> yesterday. Have you ever eaten <i>yubeshi</i> ?				ありがとう。ところで、僕は昨日ゆべしを食べたんだ。 ゆべし、食べたことある？
9 A	Yes. I love <i>yubeshi</i> !				うん。ゆべし、大好き！
10 B	It's so delicious.				すごくおいしかった。
11 A	It is made of flour, suger, walnuts and so on.				小麦粉や、砂糖や、クルミとかでできてるんだ。
12 B	Really ? I like sesame flavored one.				本当に？ 僕はごま味が好きだな。

Have you ever eaten ~ ?

I've never eaten ~ .

It's a kind of ~ .

It is made of ~ .

～を食べたことがある？

～は一度も食べたことがない。

～の一種だよ。

～でできているんだ。

発表をしよう

組 番 氏名

- ◎ インタビューからわかったことを、クラス全体に発表しましょう。
- ◎ 発表の形式は、各班で決めて下さい。ただし3分以内、全員が話をできるように分担すること。
例:スピーチの様な形で発表 短い劇にして発表 紙芝居で発表 詩にして発表
- ◎ わかったことの中で、最も伝えたいことをいくつか選んでまとめてもかまいません。
7分以内

- We asked Mr. Perry about American school life. ()
- What is the difference between Japanese and American school life? ()
- Where do American students eat lunch? ()
- What's his favorite subject? ()
- What sports team was he on? ()
- How often ~~does~~ he play it? ()
- Where did he go on outing? ()
- Thank you. ()
- ()
- ()
- ()
- ()
- ()
- ()
- ()

MEMO

2. A. change classroom	B. subject	C. Outing.	Answers 紙芝居 紙芝居
3. A. Classroom	B. Cafeteria	C. Park.	
4. A. English	B. Math	C. Science	
5. A. Baseball	B. Football	C. Basketball	
6. A. Everyday	B. Once a Week	C. Once a month	
7. A. Camping	B. Fishing	C. Museum	

発表をしよう

組 番 氏名

- ◎ インタビューからわかったことを、クラス全体に発表しましょう。
- ◎ 発表の形式は、各班で決めて下さい。ただし3分以内、全員が話をできるように分担すること。
例:スピーチの様な形で発表 短い劇にして発表 紙芝居で発表 詩にして発表
- ◎ わかったことの中で、最も伝えたいことをいくつか選んでまとめてもかまいません。

- Who named your name? ()
- My parents did. I love my parents. (S)
- What does your name mean? ()
- It's crown. (王冠?) ()
- Do you like your name? ()
- Yes. It's good for me. (飛騨) (S)
- By the way, why do you make hairstyle? ()
- Because it's cool. (髪の毛の長さは肩くらいです) my hair length (S)
- What sports do you like? ()
- I like soccer, basketball and table tennis! (S)
- What music do you like? ()
- Yes. I like rock music. (JAZZ) (S)
- Do you have girlfriend? ()
- Yes. She's cute!!!! (11+0) (S)
- ()

MEMO

Sは... 水戸先生役をやる

インタビュー 評価シート

組 番 氏名

9 班	話題	Japanese culture	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	Big trip is good. Pictures are very good to understand it.		
7 班	話題	About Japan	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	発音 is very good. 暗記 is wonderful.		
5 班	話題	Mr. Perry life in Japan	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	I understand Mr. Perry's life in Japan.		
10 班	話題	Japanese cultures	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	7分 is very fun. I understand a lot of things about him.		
2 班	話題	About Mr. Perry	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	I think your presentation is very funny.		
4 班	話題	trip	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	発音 is very good. I understand it very well.		
6 班	話題	food	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	I want to know more about American food. 7分 is very fun		

1 班	話題	Famous people	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	I think your presentation is very funny. Katsuba's presentation is very good.		
8 班	話題	America	評価: A+ (A) B C
質問や感想など	発音 is very good. I want to know more about America.		

自己評価

組 番 氏名

準備の時に	積極的に準備に参加した	(A+)	A	B	C
インタビューの時に	意欲的に質問できた	A+	A	B	C
	答えの内容がわかった	A+	A	B	C
発表の時に	聞く相手を意識して話せた	(A+)	A	B	C
	練習した通りに話せた	(A+)	A	B	C
発表を聞く時に	しっかり聞いた	(A+)	A	B	C
	内容が理解できた	(A+)	A	B	C
	質問ができた	A+	A	B	C

感想

発表の準備のときに少し時間がかかっていたけれども「全員で協力すること」でよかった。本番では緊張しましたが練習通りにできて良かったです。ほかのどの班もいろいろ工夫していてすごいなと思いました。とても楽しかったです。

他の班への質問や感想の例

- I think your presentation is very ~. 皆さんの発表はとても~だと思う。 → Thank you.
- I want to know more about ~. ~についてもっと知りたいと思う。 → Really? Me, too.
- Why did you ask about ~. なぜ~について聞いたのですか? → Because we were interested in ~.
- Do you know ~? ~を知っていますか? → Sorry, we don't know. I'll ask him later.
- ~'s presentation is very good. ~の発表がとても良かった。 → Thank you.

インタビュー 評価シート (班)

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

自己評価

組 番号 氏名 (班)

準備の時に	積極的に準備に参加した	A+	A	B	C
インタビューの時に	意欲的に質問できた	A+	A	B	C
発表の時に	答えの内容がわかった	A+	A	B	C
発表を聞く時に	聞く相手を意識して話せた	A+	A	B	C
	練習した通りに話せた	A+	A	B	C
	しっかりと聞けた	A+	A	B	C
	内容が理解できた	A+	A	B	C
	質問ができた	A+	A	B	C

感想

他の班への質問や感想の例

- I think your presentation is very ~. 皆さんの発表はとても~だと思ふ。 → Thank you.
- I want to know more about ~. ~についてもっと知りたいと思ふ。 → Really? Me, too.
- Why did you ask about ~. なぜ~について聞いたのですか? → Because we were interested in ~.
- Do you know ~? ~を知っていますか? → Sorry, we don't know.
- ~'s presentation is very good. ~の発表がとても良かった。 → Thank you.
- I'll ask him later.

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

班 評価: A+ A B C

話題

質問や感想など

発表をしよう

組 班 :

- ◎ インタビューからわかったことを、クラス全体に発表しよう。
- ◎ 発表の形式は、各班で決めて下さい。ただし3分以内、全員が話ができるように分担すること。
例：スピーチの様な形で発表 短い劇にして発表 紙芝居で発表 詩にして発表
- ◎ わかったことの中で、最も伝えたいことをいくつか選んでまとめてみてください。

1 ()

2 ()

3 ()

4 ()

5 ()

6 ()

7 ()

8 ()

9 ()

10 ()

11 ()

12 ()

13 ()

14 ()

15 ()

MEMO

他の班への質問も考えておきましょう

(他の班が選んだ話題はこちら →)

4組

1: 有名人	2: 先生自身のこと
3: 日本文化	4: 旅行・場所
5: 日本の生活	6: 食べ物
8: お国自慢	7: 日本について・TV
	9: 日本文化
	10: 日本文化

- ◎ 自分だったらこんなことを聞いてみたい
- ◎ なぜその話題を選んだんだろう
などを質問できると、他の班の発表を聞くのがさらに楽しくなりますね。

発表の例：スピーチの形で・・・

We asked Mr. Perry about Japanese.

He has studied Japanese for about ten years.

We asked what is difficult to study Japanese.

His answer is *kanji* and grammar.

We think he can speak Japanese well, but he says he doesn't speak Japanese at school. We want to listen his Japanese.

Thank you.

インタビューをしよう

組 班 :

- 1 ① 選んだ話題について、先生にインタビューをしましょう。あらかじめ質問を考えましょう。
- ② 話の流れからさらに深い質問ができるよう考えておきましょう。
- 2 ① 実際にインタビューをして、答えをメモしておきましょう。
- ② 他の班が担当した話題について、聞いてみたいことを考えておきましょう。
- ③ インタビューした内容を発表するためにまとめた原稿を作りましょう。
- 3 ① 発表をしましょう。
- ② 発表をした班に、質問をしましょう。質問された班は、その場で答えてみましょう。

話題: 例: 文化・習慣・学校生活・食べ物・旅行・趣味・スポーツ・芸能・仕事 等

Q1 Answer _____

Q2 Answer _____

Q3 Answer _____

Q4 Answer _____

Q5 Answer _____

Q6 Answer _____

Q7 Answer _____

Q8 Answer _____

MEMO _____

語をつなぐ

- ① Well, ええと、それでは、(すぐには答えられないとき)
 - ② Let's see. / Let me see. ええと… (話題を教えるとき)
 - ③ By the way, ところで、(もっと話を続けてほしいとき)
 - ④ Please tell us more. もう少し話してください。
- 聞き返す
- ① Japanese food? (聞き返したい言葉だけを取り上げて)
 - ② Pardon? もう一度言ってもらえますか。
 - ③ For example? たとえば?
 - ④ What does ~ mean? ~はどういう意味ですか。

相づちを打つ

- ① Uh-huh, うんうん。
 - ② Yes, はい。
 - ③ Really? えっ! ほんど?
 - ④ Oh, I see. なるほど。
 - ⑤ I get it. / I've got it. そうか、わかった。
 - ⑥ That's right. / You're right. その通りです。
 - ⑦ (It's ~と書かれて) Is it? あ、そうなの?
- 褒めや喜びを示す
- ① Wow! うわあ!
 - ② Great! すばらしい!
 - ③ How exciting! へえ、すごい!
 - ④ That's interesting. おもしろいな。

質問例文集

- 好きな~は何ですか? What's your favorite ~ ?
- どんな~が好きですか? What ~ do you like ?
- 好きな~はただれですか? Who is your favorite ~ ?
- どんな種類の~が一番好きですか? What kind of ~ do you like the best ?
- ~したことはありますか? Have you ever ~【過去分詞】?
- いつ~しましたか? When did you ~ ?
- どこで~しましたか? Where did you ~ ?
- ~の...について教えて下さい。 Please tell us about ... in ~ .
- ~と...の違いはなんですか? What is the difference between ~ and ... ?
- どのくらい(の頻度で)~しますか? How often do you ~ ?

外国語（英語）科学習指導案

川崎市立菅生中学校
指導者 伊豆 典子

1. 日 時 2015年 11月 5日（木） 第5時限（13：30～14：20）

2. 学 級 3年2組（40名） A棟4階 3年2組 教室

明るく元気で男女の仲も良く、行事などへの取り組みも積極的である。学習に対しても前向きに取り組む、積極的にコミュニケーションをはかろうとする生徒が多いが、英語に対して苦手意識を持っている生徒も存在する。ペアやグループの活動など活動形態を工夫しながら、協力して意欲的に活動する雰囲気を作り、学習内容を深めるよう指導したい。

3. 単元名 学校図書 TOTAL ENGLISH 3 Chapter4 Project 「自分の考えを言おう」

4. 単元観

本単元では、他者の考えや意見を聞いたり、自分の考えや意見を述べたりして話し合いをする活動をとおして、「積極的にコミュニケーションをとりながら、他を尊重し自己を発信できる」ことをめざしている。そのために、英語を使って自分自身の意見や考えを述べる力を育成したい。これまでに学習したことを総合的に活用した自己表現活動である。

5. 単元の目標

- (1) これまでに学習したことを生かして自分の意見を発表する。
- (2) 仲間の意見を聞いて理解し、それに対して自分の意見や考えを言う。
- (3) 間違ふことを恐れず、意欲的に表現しようとする。
- (4) 自分の意見を述べる際によく使う表現を理解し、話し合いの中で必要に応じて使う。

※ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 聞くこと・話すこと・書くこと

『他を尊重し自己を発信できる生徒の育成』第3学年				
	聞くこと	話すこと	書くこと	読むこと
到達目標	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	与えられたテーマについて自分の意見や思いを含めた会話やスピーチをすることができる。	与えられた課題について、つながりとまとまりを意識した英文を書くことができる。	まとまりのある英文を読み書かれた内容や考え方への大筋をとらえることができる。

6. 評価規準

ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ) 外国語表現の能力	ウ) 外国語理解の能力	エ) 言語・文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず、意欲的に表現活動を行おうとしている。	これまでに学習したことをいかして自分の意見を言うことができる。	仲間の意見を聞いて理解し、それについて自分の考えを言うことができる。	自分の意見を言う際によく使う表現を理解し、必要に応じて使う。

7. 指導計画

時 間	○ねらい ・学習活動	単元の 評価規準	評価場面・方法
第1時 (本時)	<p>○選んだ話題について班内で意見を言い合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や感想を述べる言い方や、他者の意見についての考えを述べる言い方を学ぶ。 ・提示されたテーマについて、各自が自分の意見を述べて、ディスカッションを行う。 ・公開ディスカッションを行うテーマの希望を決める。 ・班内で賛成派と反対派に分かれてディスカッションを行うための準備をする。 	イウエ	ハンドアウト 後日発表活動 (原稿確認)

第2時	○公開ディスカッションのための準備をする。 ・ディスカッションを行うために、各班、チームごとに、意見の確認をする。 ・相手の意見を想定して、それに対する反論なども用意する。	イウエ	ハンドアウト 後日発表活動 (原稿確認)
第3時	○班ごとに公開ディスカッションを行う。 ・ディスカッションを行うために、各班、チームごとに、意見を確認する。 ・公開ディスカッションを行う。 ・聞いている人は、どちらの意見が妥当か、審査をする。 ・ディスカッションの内容について、他の班から意見や質問があれば発表する。	アイウ	活動の観察
第4時	○発表のビデオを見て、振り返りをおこなう。 ・ビデオを見て振り返りを行う。 ・年度末に行うさらに発展した話し合いについて確認をする。	アイウ	活動の観察

8. 本時の目標

- ・自分の意見や考えを述べる。
- ・相手の意見の内容を理解し、それに対する意見や考えを述べる。

9. 本時の展開

※記号：W... whole class G... work in groups P... work in pairs

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>W ・あいさつ ・日直が曜日と天気の確認をする。 ・日直が単語ゲームを行う。</p> <p>P ・One Minute Chat ・帯で行っている会話活動 ・ペアで相手を変えて、1分間自由会話を行う。 ・代表のペアが1分間自由会話を行う。</p>	<p>・生徒たちの反応により声掛けを工夫する。</p> <p>・机間指導しながら支援する。</p>	<p>・間違うことを恐れず、意欲的に表現活動を行っているか。</p>
展開	<p>W ・自分の意見や感想を述べる言い方や、他者の意見についての考えを述べる言い方を学ぶ。</p> <p>G ・提示されたテーマについて、各自が自分の意見を述べる。 ・反対派と賛成派に分かれて、意見を言い合う。 ・相手の意見に対して、自分の考えや感想を言う。</p> <p>G ・公開ディスカッションを行うテーマについて、班で話合って決める。</p> <p>G ・反対派と賛成派に分かれて、準備をする。 ・自分たちの意見の賛成理由、相手の意見に対する反対の理由を考える。</p>	<p>・賛成意見、反対意見の言い方をそれぞれ紹介する。</p> <p>・机間巡視をし、各班の話し合いを支援する。</p> <p>・同じテーマで話し合う班がおおくなりすぎないように、調整をする。</p>	<p>・積極的に意見をのべているか。 ・意見を述べるときによく使う表現を理解し、必要に応じて使っているか。 ・相手の意見を理解しているか。</p> <p>・ディスカッションに向けて、様々な意見を出すことができるか。</p>
まとめ	<p>W ・公開ディスカッションに向けて確認をする。 ・ワークシートを提出する。</p>		

10. 本時の評価

- ・自分の意見や考えを述べるができる。
- ・相手の意見の内容を理解し、それに対する意見や考えを述べるができる。

One Minute Chat : どっちが好き?

Class No. Name:

1 A	Which do you like better, school lunches or box lunches?			給食と弁当、どっちが好き?
2 B	I like school lunches better.			僕は給食の方が好き。
3 A	Really? Why?			本当に?なんで?
4 B	Because we can eat hot meal. Box lunchea are cold.			暖かい食事が食べられるから。お弁当は冷たいよ。
5 A	I think box lunches are better. Because we can eat our favorite food.			私は弁当の方が良いと思う。 自分の好きな食べ物が食べられるから。
6 B	I don't think so. School lunches are better. We can enjoy the same dishes together.			僕はそう思わない。給食の方がいいよ。 みんなで一緒に同じ食事を楽しめるんだよ。
7 A	But we need time to prepare school lunches. We can eat box lunches soon after class.			でも、給食を準備するのに時間がかかるよ。 お弁当は、授業が終わってすぐ食べられる。
8 B	That's true, but we have to make box lunches every morning.			そうだけど、でも、お弁当は毎朝作らなきゃならないよ。
9 A	My mother makes lunches for me. She is good at cooking.			お母さんが私のために作ってくれるよ。 料理、じょうずなんだ。
11 B	So you have to thank your mother.			じゃあお母さんに感謝しなきゃね。
12 A	I agree with you.			その意見には賛成だわ。

賛成 I agree. (賛成です)

I think so, too. (私もそう思います)

I agree with ~. (~に賛成です)

反対 I disagree. (反対です)

I don't think so. (私はそう思いません)

I'm afraid I disagree. (残念ですが、賛成できません)

反論 I know what you mean, but ~

.(あなたの言うことはわかりますが~)

That's true, but ~. (なるほど、しかし~)

意見 I think (that) ~.

I believe (that) ~. ~と思います。

自分の意見を言おう

組 番

★ 今日の話し合いのテーマは

Which do you like better, summer or winter?

- ① 自分の意見を: I like _____ better
その理由を: because _____
- ② 他の人の意見に続けて言ってみよう。→ 賛成 I think so, too. I agree with ~.
→ 反対 I don't think so. I disagree.
→ さらに意見を続ける That's true, but ~. I know what you mean, but ~.

★ 公開ディスカッションで話し合うテーマを決めよう。

- どっちが好き? 冬休み VS 夏休み
春 VS 秋
和食 VS 洋食
犬 VS 猫
ベッド VS ふとん
都会 VS 田舎
遊びに行くなら? ディズニーランド VS USJ
旅行に行くなら? 自家用車 VS 電車
夏に行くなら? 日本 VS 海外
行けるなら? 沖縄 VS 北海道
未来 VS 過去

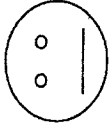
選んだテーマは 自分は 派

賛成の理由

相手の意見に反対の理由

予想される意見に対する反論

① 自分の意見を言うときによく使う表現を確認しましょう。

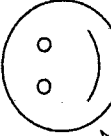


I like ~ better than ~.
I want to ... more than ~.
I think ~ is better than ~.
I believe ~. I think ~.

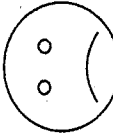
~より~の方が好き。
~より...したい。
~の方が~より良いと思う。
~と思います。

例: I want to go to TDL more than USJ. Because I like Mickey very much.
I think trains are better than cars when we take a trip.
Because we have no traffic jam.

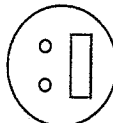
② 人の意見を受けて自分の意見を言う時によく使う表現を覚えましょう。



賛成
I think so, too.
私もそう思う。
I agree (with ~).
(~に)賛成です。



反対
I don't think so.
私はそう思わない。
I disagree.
反対です。
I'm afraid I disagree.
残念ですが、賛成できません。



反論
That's true, but ~.
I know what you mean, but ~.

なるほど、しかし~。
あなたの言うことはわかりますが、でも~。

けんちゃん

研究推進通信

特別号
あまり出す気はない
指導主事との約束
をすっばかした
橋本慎一

受けちゃいました。けんちゃんを！

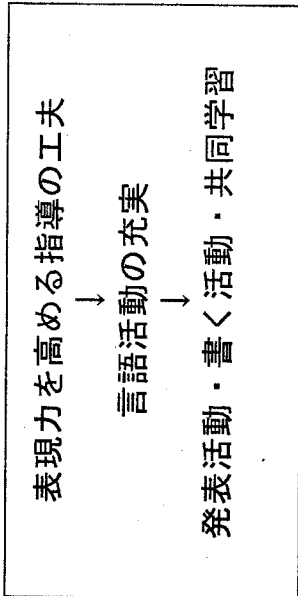
4月某日、校長先生に呼ばれて校長室へ行くと「先生受ける？」というやさしい笑顔。一瞬間のことかわからなかったがピンときた。昨年度末に前英語科部長から研究推進の話を聞いていたのだ。4月も半ばに差し掛かったところだったのもうその話はなくなっただけだ。一瞬迷ったが、ここで何か全校で取り組むことがあるといいなと思っていたところだったので引き受けることにした。受けちゃいました。けんちゃんを！

というわけで、「表現力を高める指導の工夫」という研究主題で英語科が主体となって研究を行います。英語科だけの研究にならないように全校で表現力を高めるために「言語活動の充実」について取り組んでいければと思います。

具体的には「発表活動」「書く活動」「共同学習」を学習活動の中に取り入れたいと思っています。あくまでも実践研究ですので、新たに理論を構築するのではなく、先行する研究を試しながら本校の生徒にあった学習活動を工夫していきたいと思えます。昨年度の校内授業研究で紹介した文科省刊の「言語活動の充実に関する事例集」や「川崎教育プラン」更には各教科の事例集など参考になる研究がすでにたくさんあります。できることからコツコツと。楽しい授業を作っていきたいと思います。

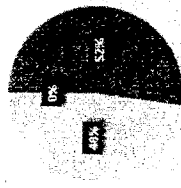
研究の概要

研究の概要は右の図に示されているように至ってシンプルなものです。

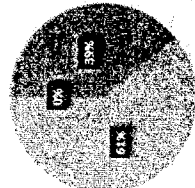


「普段の授業の中に表現力を高めることを意識して活動を行い、まていく。草の終わりにには プロジェクト活動や作品作りを行い、まとめの活動を行う。」普段行っている授業そのものです。

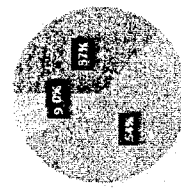
授業に対して、教職員は、生徒の実態に応じてわかりやすい授業を行っているか【教職員】



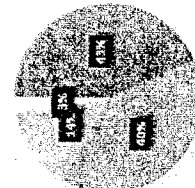
教職員は、学習内容について意欲がもてるように努めているか【教職員】



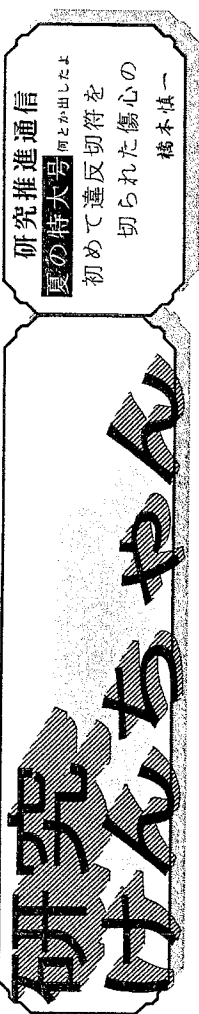
授業に対して、教職員は、生徒の実態に応じてわかりやすい授業を行っているか【生徒】



教職員は、学習内容について意欲がもてるように努めているか【生徒】



昨年度の学校評価の結果です。普段の授業に一工夫すればよりわかりやすく、生徒の意欲を引き出す授業を作れるのではないかと思います。今回の研究がそのきっかけになればよいのではないかと思います。



一流は一流を知る！

今年の夏、サッカーワールドカップで活躍したポルトガル代表のクリスティアーノ・ロナウド (Cristiano Ronaldo) が来日した。過密なスケジュールの中サッカー教室で日本の子供たちと交流する機会があった。

サッカーの妙技を子供たちに披露し、たくさんの観客や記者団の取り囲む中、和やかに交流会は行われていた。会も後半に差し掛かり、参加した子供たちを代表して何人がロナウドに質問するコーナーがもたれた。様々な質問がなされ楽しくコーナーが盛り上がっていった。そして、小学校低学年であるう小さな男の子に順番が回ってきた。

その男の子はポケットの中から小さな紙を取り出し、いきなりスペイン語で質問を始めた。大観衆の中スパースターのロナウドを前にしてあまりに緊張したのだろう、あこがれのロナウドのために昨晚一生懸命練習したのだろうが、その男の子の発する質問はスペイン語というにはあまりにもたどたどしく言葉になっていなかった。周りを取り囲んでいた記者団はその様子を見て笑い出した。

ただ一人ロナウドだけは真剣に彼の質問を聞き、その質問に対して真撃に答えていた。そして、笑っていた記者団に対して大き

な声でこう怒鳴った。「なぜ笑うんだ。彼のスペイン語は完璧だ。」真剣に努力する者に対して真剣に答える。私はそういう人間でありたい。そしてそういう子供たちを育てたい。そのような願いから本校英語科の理想の生徒像を「他を認め自己を発信できる生徒」としている。

本校の理想とする生徒を育てるために様々な試行錯誤してきたが、お互いを知り、十分理解し合うためには豊かな表現力を使い自己を表現していくことが必要であることを痛感した。豊かな表現力を身につけるためには、普段の授業の中で相手を意識しながら話したり、書いたりして発信していかなければならない。そして、相手を意識する活動として協同型の学習は非常に効果的である。

以上のことから本校の理想とする生徒を育てるために研究主題を「表現力を高める指導の工夫～発表活動・書く活動・協同学習を通して～」とした。(共済の論文より)

今回依頼されている共済の論文から長々と引用したが、今回英語科が進めている研究の目的を少しでもご理解いただけたであろうか？

英語というツールを通して世界を知り、確かな価値基準を持つてもらいたいと思っている。8月と言えば終戦記念日。日本では広島・長崎の映像が流れる。一方アメリカではニューヨーク市立博物館、真珠湾の映像が流される。勝者・敗者、加害者・被害者それぞれ立場の中で戦争が語られる。お互いに相手を尊重し、自己を発信する。そして、協同的な関係を経て初めて、本当にいけないことは戦争そのものであるということに行きつくのではないだろうか。

かつてジョン・レノンが“Imagine”という歌を作り、反戦運動を繰り広げた。そして、“We are the world”が全世界に流れて30年が経とうとしている。もしかしたら、協同的なつながりが平和へのヒントになるのかもしれない。なんてね。

研究の経過

表現力を高める指導の工夫

↓
言語活動の充実

↓
発表活動・書く活動・共同学習

4月 みなさんご存じのように、ドタバタの中で研究推進を受け、何をしたいのか分からず右往左往しているだけであった。

なんとか研究主題を捻り出し研究をスタートすることができた。

5月 今回の研究は昨年度まで取り組まれていた西生田中の研究推進「2分間会話を続ける」と長期研究で取り上げていた「協同学習」を継承するものです。兎角、研究を受けるとなると打ち上げ花火的な目立つものや、はやりのものを主題に選び、以前の研究とはつながりのない研究を多く見受けられます。やはり川崎市として取り組むのですから今までの研究を深めたいと考えました。そんなわけで前年度の研究者に話を伺い、研究のベースとなる情報を集めました。

また、一方で東京家政大学の太田教授に助言者を引き受けてもらい理論的な助言をいただきました。

6月 拡大要請では大変お世話になりました。英語科のせいでみなさんにはご迷惑をおかけいたしました。後で、全校で言語活動の充実に取り組んで発表したのは菅生中だけだと何人かの指導主事からねざらぬ言葉？をいただきました。本当にお疲れ様でした。

ただ、全校で取り組むことにより各教科の取り組みを知ることができ大変参考になりました。また、研究協議では言語活動の充実に実について講演を聞き、話し合うことにより共通理解を持てたの

ではないでしょうか？今後各教科での取り組みがあまりありません。知らせてください。みなさんで共有し、深めていきたいと思えます。

肝心の英語科の授業はまだ手探り状態で、かなり課題が出されました。分科会の中心となった話題は協同学習でした。授業者も生徒もまだ授業形態に慣れていないというのが正直なところでした。授業を成立たせなければと焦っていました。

7月

校内授業研に向け、太田先生の本丸である東京家政大学に外山先生と乗り込み「お悩み相談室」を開いていただきました。太田先生は「答えは授業者の中にある」というスタンスの方で、我々の悩みに対して質問を切り返し、答えをうまく引き出してくださいました。それまでのもやもやが幾分か解消し霧が晴れました。夜は行きつけのタイリアンでさらに盛り上がりしました。

校内授業研究当日は全学年で授業公開し、参観していただきました。協同学習にもだいが慣れてきて、当初の研究に基づいた授業を展開することができたのではないかと思います。

当日の反省

3-1 3校時 外山

○協同学習を行うことにより普段授業に参加できない生徒が参加するようになった。

●後半の活動が単調になってしまった。もう少し工夫が必要である。

2-1 3校時 橋本

○以前よりグループで活動することに慣れてきた。発表ではまたま英語が苦手な生徒が当たってしまったが、周りの生徒が助けて発表することができた。教え合いの姿勢が育ってきている。ただし、学び合いまで達してはいない。

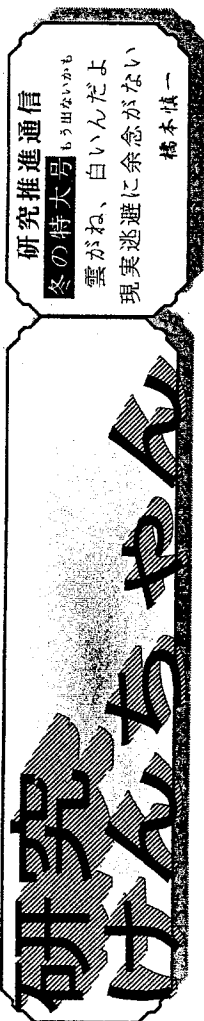
●後半の活動ではざわわする場面があり、ルールの確認をした。活動の際のルールを習慣付けたい。

1-1 4校時 永井

○クラスが落ち着いており、説明も具体的に分かりやすかった。

●書く活動が長く授業が単調になってしまった。会話活動を入れるとよかった。

今後とほろびたいと思います



2050年東京オリンピックの先へ!

2020年東京で再びオリンピックが開催される。きつと今と今、我々が教えている中学生の年代の子供たちが活躍する大会となるであらう。今から大変楽しみである。

そして東京オリンピック開催決定に合わせるかのように英語教育界の動きが活発化している。まだ次の中教審が組織されていないにもかかわらず、5つの提言が発表され、有識者会議が行われるなど何とも賑やかである。9月に公表された有識者会議の発表によれば小学校で英語が教科される。さらに、中学校の学力目標は準2級に引き上げられ、高校ではなんと準1級にまで引き上げられる。肝心の指導者ですら準1級取得者は4割程度なのに、鷹を生めと言っているような強引さである。なぜこんなに急激な改革が行われようとしているのか。

ここでちょっと読むのを止めて東京オリンピックから30年後の日本がどうなっているか想像してみたい。2050年の日本は? 近くに誰かいたら話し合ってみてほしい……。

いかがだっただろうか? 世の中はますます発展し、リニアモーターカーが新幹線に取って代わり、家用ジェットで通勤し、週末には宇宙へひとつ飛びなんて輝かしい未来が想像されたであらうか。そんな近未来の日本が抱える大きな課題。それは超少子高齢化社会である。日本の人口の約半数近くが高齢者となる時代を

迎える。いったい誰が我々のケツを拭くのだろうか。どんなに懸命に働いても我々を生かすために我々の子供や孫たちは収入の3割4割を我々に裂かなければならないのだ。そんな世の中すぐに破綻するに決まっている。じゃあどうするのか?

日本政府も馬鹿ではない。国策として超少子高齢化社会を見据えて将来大規模な外国人労働者の移住を計画している。大量の外国人労働者に我々のケツを拭かせようという寸法である。有能で穏やかな外国人労働者の移民を獲得するためには東京オリンピックで日本をアピールし「お・も・て・な・し」をしなければならぬ。そうして獲得した労働者に我々はケツを拭いてもらうのだ。しかし、気づいたら我々のケツを拭いているのは外国人労働者に雇われた我々の子や孫かもしれない。だからこそ「主体的に行動し、自己を発信することができぬ」外国人から尊敬される日本人の育成が叫ばれているのである。(本校英語科の理想の生徒像)

今年、京都大学は100人規模の外国人講師を雇用した。日本という国は最高学府である大学まで日本語で履修し、卒業できる数少ない国である。それにもかかわらず外国人を雇うことに踏み切った。大阪市では介護のための外国人ヘルパーを受け入れている。まさにケツを拭いてもらっているのである。日本の大手企業が次々に失速する中、今週発表されたニュースによればアップルが横浜に開発拠点を置く。そこで働く日本の若者が外国の資本の助けを借りて我々のケツを拭く。英語界だけではなく徐々に開国の波は押し寄せてきているのである。そして、そのうねりはますます加速していく。

やがて迎える2100年はそうして雇った外国人労働者と共生していかなければならない。日本人としてのアイデンティティを保ち、地球人として共生していく社会を築くためには、今の我々の判断が問われることになる。慎重かつ大胆に先を見据えた判断が求められているのだ。なんてね。

研究推進通信

夏の特大号

家族がグアムに逃亡
犬だけは裏切らない

橋本慎一

CLILについて

いよいよ夏も後半戦に入り、ひっそりと展開されている英語科の研究推進も本発表が迫ってまいりました。11月27日の本番へ向けて着々と(?)準備を進めているところです。本番に向け校内授業研究会を9月14日に伊豆先生、11月5日にプレ授業として外山先生、大林先生、伊豆先生に行っていたいただきませ。ご指導と温かい励ましをいただければと思います。また、診断テスト後には会場準備等ご協力をいただきます。よろしくお願ひします。さて、今年度より研究推進の主題を「表現力を高める指導の工夫～第二言語習得理論と CLIL で育てる～」としました。CLILとは"Content and Language Integrated Learning"の略で、

内容と言語の効果的な学習と共に、学習者の学ぶ力、生きる力を育てようとするとする全人的な成長を図るものである。(村野井2012)

と定義されています。主にヨーロッパの多言語社会における EU 国内での互いの言語と文化を尊重し、融合を図る施策から派生した教授法です。今、英語に関して皆さんも耳にしている"CEFR"や"Can-Do List"もこの流れをくむものです。本校の英語科が理想とする生徒像「他を認め自己を発信することができる生徒」を育てようとするとする概念とも一致してまいります。近年激化する国際紛争やいじめの問題など相互理解の欠如が招いているのは明らかです。

教室という小さな集団から互いを尊重して一緒に歩んでいくことができて生徒を育てたいと考えています。

私が初めて教壇に立ったのは市内と横浜市のある高校でした。両校とも当時は非常に教育困難な状況で横浜市の高校では1時間目には生徒が3人しかおらず、隣の高校の生徒がちやっかり座っているような時もありました。市内の高校では高校3年生のComposition(英作文)の授業を持っていました。さすがに選択で英作文の授業をとる生徒達なのでまじめに授業を受けていました。が、大学入試を目的としている生徒はいなかったのが関心を持ちそうなことを考えて授業を行ってしまいました。生徒を校外に連れ出して「街の中の英語を探そう!」という企画を立て校長先生に止められたり、クリスマスパーティーをしてアルバイト先から持ってきたケーキを切ろうとして包丁を借りにいった生徒が家庭科の先生に怒られたりと、とにかく楽しく英語を学ばせたいなど思っていました。

1年が経ち最後の学年末テストを迎えました。最後のテストは高校3年生にふさわしく"My Dream"という題で200字の英作文を課しました。後半は自由英作文の練習を毎回していたので、かなり期待して採点をしました。しかし、200字という課題を書いたのは50人中たった1名しかいませんでした。

答案返却の際、子供たちから帰ってきた返事は「書かなかったのか?」と聞きましました。子供たちから帰ってきた返事は「書かなかったのではなく、書けなかったのです。」というものでした。高校卒業に際し、希望の進学先、就職先につけた生徒はごく僅か、夢よりも不安がいっぱいだったのです。唯一作文を書き上げた生徒は校内でたった一人野球の推薦で大学進学が決まっていた生徒でした。この時、私は「なぜ、英語以外に夢や希望を持たせる教育ができなかったのか。一番大切なことを教えていなかったのではなないか。」と悔みましました。

「教師の仕事は松明の灯りを次の世代に灯す。」ことです。夢や希望を持ち助け合い合いながら自信を持って生きられるよう英語を通じて明るい未来の火を灯していければいいなと思います。

